

平成21年度 行政評価

既存事務事業中間評価結果

【平成20年度に実施した事務事業の中間（事後）評価】

羽村市行政評価委員会

平成21年度 既存事務事業中間評価結果

【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】

長期総合計画・基本目標	評価結果の種別	件数
基本目標Ⅰ 支えあいいきいきと暮らせるまち 【福祉・健康の施策】	現行どおり実施	25件
	改善のうえ実施	5件
	休止	2件
	廃止	0件
	計画どおり完了(終了)	3件
	合計	35件

長期総合計画・基本目標	評価結果の種別	件数
基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち 【教育・生涯学習の施策】	現行どおり実施	31件
	改善のうえ実施	1件
	休止	0件
	廃止	0件
	計画どおり完了(終了)	2件
	合計	34件

長期総合計画・基本目標	評価結果の種別	件数
基本目標Ⅲ 環境にやさしい安心して暮らせるまち 【環境・安全の施策】	現行どおり実施	12件
	改善のうえ実施	3件
	休止	0件
	廃止	1件
	計画どおり完了(終了)	4件
	合計	20件

長期総合計画・基本目標	評価結果の種別	件数
基本目標Ⅳ 美しく快適な住みよいまち 【都市整備の施策】	現行どおり実施	14件
	改善のうえ実施	3件
	休止	0件
	廃止	0件
	計画どおり完了(終了)	11件
	合計	28件

長期総合計画・基本目標	評価結果の種別	件数
基本目標Ⅴ 活力に満ちたにぎわいのあるまち 【産業振興・消費生活の施策】	現行どおり実施	10件
	改善のうえ実施	1件
	休止	0件
	廃止	0件
	計画どおり完了(終了)	1件
	合計	12件

長期総合計画・基本目標	評価結果の種別	件数
基本構想を実現するために 【市民参画・行政運営充実の施策】	現行どおり実施	29件
	改善のうえ実施	4件
	休止	0件
	廃止	0件
	計画どおり完了(終了)	8件
	合計	41件

	評価結果の種別	件数
合計	現行どおり実施	121件
	改善のうえ実施	17件
	休止	2件
	廃止	1件
	計画どおり完了(終了)	29件
	合計	170件

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
1	後期高齢者医療制度の施行・運用 事務事業の成果(目標達成度) 東京都後期高齢者医療広域連合との連絡調整に努め、円滑な運営が図れた。	後期高齢者医療制度の特別会計を設置し、保険料の徴収業務(特別徴収関係事務、普通徴収関係事務)を行うとともに、被保険者証の発行、各種申請・届出の受付、入力事務、窓口相談、東京都後期高齢者医療広域連合との連携事務等を行った。	事業費	586,505	675,928	696,205	717,092	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	法に基づいた新たな医療制度であり東京都後期高齢者医療広域連合と連携しながら円滑に運用する必要がある。	現行どおり実施	国の動向等を十分把握し、広域連合と連携しながら、着実な運営を実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	27,847	30,342	31,252	32,189								
			受益者負担額	302,272	331,556	341,503	351,748								
			その他特定財源	6,314	5,090	5,242	5,399								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	250,072	308,940	318,208	327,756											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
2	国民健康保険被保険者に対する特定健康診査の実施 事務事業の成果(目標達成度) 目標受診率:41.1% ⇒ 結果値:41.1%	平成20年度から被保険者に義務付けられた特定健康診査を、国民健康保険被保険者を対象として、平成19年度に策定した「特定健康診査・特定保健指導実施計画」(第1期)に基づいて実施した。(内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための保健指導を必要とする被保険者等を抽出するための特定健康診査の実施)	事業費	32,131	36,991	40,066	52,894	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	法に基づいて実施計画を作成し、実施しているもので、継続して運用していく必要がある。	現行どおり実施	国の示したビジョンを着実に実施し、市民の健康保持と医療費削減による財政負担軽減を図っていくこと。
			国庫支出金	6,189	6,189	6,189	6,189								
			都支出金	6,189	6,189	6,189	6,189								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	19,753	24,613	27,688	40,516											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
3	国民健康保険被保険者に対する特定保健指導の実施 事務事業の成果(目標達成度) 目標受診率:32.8% ⇒ 結果値:32.8%	平成20年度から被保険者に義務付けられた特定健康診査を、国民健康保険被保険者を対象として、平成19年度に策定した「特定健康診査・特定保健指導実施計画」(第1期)に基づいて実施する。 特定健康診査の結果から、保健指導対象者を抽出し「積極的支援」及び「動機付け支援」等の階層化を行い、約6か月間それぞれ階層ごとに適切な保健指導を実施し、評価を行う。	事業費	1,715	4,005	4,890	6,015	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	法に基づいて実施計画を作成し、実施しているもので、継続して運用していく必要がある。	現行どおり実施	国の示したビジョンを着実に実施し、市民の健康保持と医療費削減による財政負担軽減を図っていくこと。
			国庫支出金	264	264	264	264								
			都支出金	264	264	264	264								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	1,187	3,477	4,362	5,487											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
4	民生委員・児童委員活動の円滑な実施 事務事業の成果(目標達成度) 目標民生・児童委員数:48人 ⇒ 結果値:48人	地域に密着した福祉を推進するため、民生・児童委員の増員を図り、支援を必要とする市民を地域の中で支える体制の充実を図る。	事業費	5,182	5,274	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	民生委員は、長い歴史の要請のなかで、公的な制度に基づき活動してきたボランティアであり、地域福祉推進の先駆的役割を果たしてきた。行政が直接かかわりにくい、地域社会で生じる様々な問題の相談や支援への期待が寄せられている一方で、負担の軽減も考えないと民生委員の「成り手がいない」という現実問題に直面している。	現行どおり実施	第2次評価にある課題については、関係部署だけでは解決し辛い問題である。成り手がいるかどうかの課題もあるが、全体的な人員配置等について中期的視点で検討していく必要がある。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	4,997	5,084	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	185	190	0	0											
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
5	小地域ネットワーク活動の支援	社会福祉協議会が行う町内会・自治会等を単位として推進する地域住民による支え合いや見守り事業等を支援する。	事業費	2,590	2,730	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	地域単位の必ずしも公的ではない社会福祉の推進には、住民参加による自主的な活動が欠かせない。地域社会における豊かな交流と支え合いのなかで、個々人の生活を人間的なものとなるよう、地域社会全体を心のふれ合うものにしていくことが課題となっている。	現行どおり実施	実施主体の社会福祉協議会へのサポートを強め、新たに設置した市民活動ボランティアセンター機能も発揮していただくよう、関係部署と協働して働きかけていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	1,365	1,365	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	1,225	1,365	0	0	全町内会・自治会ごとの組織化を目指しているが、1箇所未設置のところがあるため、達成度については「4」とした。			住民同士の相互扶助の精神で活動を行っているが、活動の質については差が大きいことから、効率性については「4」とした。		地域住民による、高齢者や障害者の見守りや手助け、高齢者等の交流事業等は、限られた財政の中で今後の発展が期待されることから、有効性については「5」とした。					
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
6	生活保護の適正実施	憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するもの。	事業費	796,871	889,409	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	今日、労働法制の脆弱化や家族・会社・地域の絆の希薄化等により、最後のセーフティネットといわれている生活保護制度の重要性は一層増している。しかし、雇用の問題や扶養義務の放棄など社会の歪のすべてを生活保護で解決できるわけではない。明確な国家ビジョンと社会保障の機能強化の為に財源確保が重要となっている。	現行どおり実施	現下の社会情勢の中では、セーフティネットとしての生活保護制度への依存が多くなっていくと考えられる。ケースが増加し煩雑になると思われるが、適正な措置と自立支援に向けた取組みについて着実に実施していくこと。
			国庫支出金	593,315	628,140	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0	生活保護の適正実施については、都の指導検査に際しても助言件数が少なく、適正実施していることから、達成度については「5」とした。			費用対効果や運営手法により、効果が現れるものではないことから、効率性については「4」とした。		費用対効果や運営手法により、効果が現れるものではないことから、効率性については「4」とした。					
一般財源	203,556	261,269	0	0	事業費の内訳										

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
7	障害者計画及び障害福祉計画の策定	ノーマライゼーション理念の実現に向けた市の考え方を定めるために、障害者基本法に基づき「羽村市障害者計画」を、また、福祉サービスの必要見込と提供体制の確保について具体的整備数量を定めるために、障害者自立支援法に基づき「羽村市第2期障害福祉計画」とを一体的に策定した。また、これらの計画の策定にあたっては、「羽村市障害者計画及び障害福祉計画審議会」の答申を最大限尊重するとともに、意見公募手続(パブリックコメント)により市民の意見を反映させ、障害のある人が、地域で安心して自立した生活ができることを目指すものとした。	事業費	2,388	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	これまでの市の障害者計画は、地域福祉計画に包含してきた。しかしながら、第三次地域福祉計画の策定趣旨とも関連し、障害者に関する一体的な計画として「障害者計画及び障害福祉計画」を策定した意義は大きい。今後とも障害者が地域で普通に住み続けられるまちづくりを目指し、計画の着実な推進を図っていく。	計画どおり完了(終了)	今後は、計画に沿って着実に事業を実施していくこと。なお、平成24年度から次期の長期総合計画が動き出すが、来年度以降第3期の障害者計画の策定事務が始まるが、障害者自立支援法自体の改廃も想定されることから、それらとの整合、また、見直し等についても検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0	事業費の内訳										
一般財源	2,388	0	0	0											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)							
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価								
8	施設サービス事業団体の法人化への移行支援	市内で障害者施設を運営する「特定非営利活動法人障害者団体連絡会そよがぜ」(現 社会福祉法人そよがぜ)が、障害者自立支援法に基づく就労移行支援・就労継続支援等の事業など多様な福祉サービスを提供できる事業主体となるよう、社会福祉法人化への移行を支援した。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	NPO法人「そよがぜ」は、国庫補助を受け建設中の建物を基本財産として社会福祉法人化を果たした。また、社会福祉法人化によって医療福祉機構からも融資を受けることができ、施設建設は順調に進んでいる。今後の障害者福祉の一翼をこした民間の力によって担っていただき、羽村という地域の福祉を豊かなものにしていく。	現行どおり実施	地域福祉の分野に民間が参入してくることは、利用者、行政、地域など、どのセクターに対しても有益であることから、今後、それらの団体の活動に対して自主性を損なわないよう側面からの支援していくこと。					
			国庫支出金	0	0	0	0													
			都支支出金	0	0	0	0													
			受益者負担額	0	0	0	0									的確な支援により、計画どおり平成20年度中に法人化できたことから、達成度については「5」とした。			「そよがぜ」が社会福祉法人化したことにより、今後の市の障害福祉政策に大きな力となること期待でき、施設建設は順調に進んでいる。今後の障害者福祉については「5」とした。	
			その他特定財源	0	0	0	0									事業費の内訳				
起債	0	0	0	0																
一般財源	0	0	0	0																

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		福祉健康部 障害福祉課		
9	就労継続支援等の場の拡大	「社会福祉法人そよがぜ」が、障害者支援施設の整備を促進することにより、定員枠の拡大が図られるよう、国庫補助を得て新施設の建設を目指す計画を支援した。 また、施設用地については市が無償貸与した。	事業費	0	9,602	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	福祉作業所から、法律に定める「就労継続支援事業」へ移行するとともに、新たに「就労移行支援」なども行う施設の建設によって、障害者の働く場を拡大できたことから、有効性については「5」とした。	現行どおり実施	民間の方により障害者の就労の場を確保できたことは非常に効果があったといえる。今後も、自主性を損なわないように支援していくことが必要であり、特に福祉的就労の中から一般就労に繋がっていくように、第2次評価にもあるような就労支援センター「エール」との相乗効果が発揮されるよう働きかけて協働についても視野に入れていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	0	9,602	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		福祉健康部 障害福祉課		
10	障害者就労支援センターの開設・運営	障害者の企業等への就労の機会の拡大を図るため、平成20年9月に障害者就労支援センター「エール」を開設するとともに、就労コーディネーターや生活支援コーディネーターによる、職業相談、就業準備支援、職場開拓、職場定着支援などの就労支援事業を実施した。	事業費	16,209	13,554	13,554	13,554	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	昨秋、西多摩初の障害者就労支援センター「エール」がオープンし、一般就労に向けた支援を開始した。しかし、金融危機が表面化した以降、企業の活動は著しく落ち込み、企業から作業を受注する障害者施設の多くがその影響を受けている。こうした難しい状況にはあるが、今後とも障害者と雇用企業を支援するエールの活動は重要と考える。	現行どおり実施	現下の社会情勢の中では、一般就労に結びつけることは非常に難しいと思うが、「エール」の活動は障害者の一般就労に向けた道筋として貴重であることから、今後も側面からのサポートに配慮していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	7,906	6,774	6,774	6,774							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	8,303	6,780	6,780	6,780										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		福祉健康部 高齢福祉介護課		
11	第4期羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることを目的として、老人福祉法に基づく「羽村市高齢者計画」と、介護保険法に基づく「第4期介護保険事業計画」の両計画を調和のとれた一体的な計画として策定し、新たに目指すべき理念と方向性を示すとともに、施策を体系的に整理し、取り組むべき具体的な事業を明らかにした。また、第4期介護保険事業期間の給付量を的確に見込むとともに低所得者にも配慮し、所得の再配分機能を強化した保険料設定とした。	事業費	3,225	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	計画どおり完了(終了)	法定義務計画ではあるが、給付と負担が連動する保険制度であり、負担は軽く、給付は高く、といった論理は成立し得ない。また、在宅サービスと施設サービスのバランスなども保険料に直結するため、多くの市民から理解が得られる計画内容や保険料設定が重要である。	計画どおり完了(終了)	今後は、計画に沿って着実に事業を実施していくこと。なお、平成24年度から次期の長期総合計画が動きだすが、来年度以降第5期介護保険事業計画の策定事務が始まることから、それらとの整合、また、見直し等についても検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	3,225	0	0	0										
		事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
12	認知症高齢者グループホーム消防設備の設置助成	平成21年4月から「消防法施行令」の一部改正(経過措置・平成23年度末)により、市が指定した地域密着型施設である認知症高齢者グループホーム「ときわ木の里」については、スプリンクラーの設置が義務付けられたことから、防火設備の整備促進のため補助金を交付する。 【補助内容】 ・実施主体:羽村市 ・負担割合:都1/2・市1/2 ・補助基準額:2ユニット・3,000千円	事業費	0	6,000	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	実施について再検討	東京都と市の助成制度により、グループホーム入居者の安全を促進する予定であったが、総務省所管の消防庁の取り組みが遅れており、スプリンクラーの設置が進んでいない。東京都を通じ、国に対し早期の取り組みと改善を要請していく。	休止	国の動向、東京都の補助制度の動向などを見極めたうえで、事業を開始すること。なお、助成対象が老人施設であり、未設置によるリスクも高いことから、国の動向について迅速な情報把握に努めるとともに、事業者に対する情報提供について配慮すること。
			国庫支出金	0	4,698	0	0							
			都支出金	0	651	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	0	651	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
13	介護保険制度の趣旨普及	平成21年度から3年間の介護保険事業計画期間における第1号被保険者の保険料や介護サービス内容及びサービス利用料などを、市民にわかりやすく周知するため制度全般のパンフレットを作成した。	事業費	1,197	0	0	1,197	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	制度の変更や保険料の設定など、3年おきに変更となることから制度の趣旨普及は欠かせない。また、介護保険制度は40歳以上の国民に保険料を課しており、税負担も伴うことから広く市民に負担と給付の関係を周知し、制度への理解を求めていくことが必要である。	現行どおり実施	本事業に限らず、福祉施策は改正変更が多いことから、常に国等の動向等に注意し、市民への趣旨普及を図っていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	1,197	0	0	1,197										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
14	介護予防事業(生活機能評価)の実施	特定健康診査などに併せ、介護予防事業の対象となる特定高齢者(虚弱高齢者)を把握することを目的として、生活機能評価を実施した。 また、把握した特定高齢者については、通知や電話、個別訪問などで筋力向上トレーニングや転倒骨折予防教室などの事業への参加を促した。	事業費	19,165	21,808	21,808	21,808	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	4	現行どおり実施	介護予防の推進の観点からも継続的に実施していくことが必要である。しかし、介護予防の対象者を把握するため、元気な高齢者を含め全被保険者を医師の診断に委ねることは経費の観点から検討が必要である。引き続き医療機関等の理解と協力を求めていく。	現行どおり実施	介護状態にならないための予防事業であり、また、要介護者の増加に歯止めをかける事業であることから、今後も、引き続き実施していくこと。
			国庫支出金	3,001	3,452	3,452	3,452							
			都支出金	1,501	1,726	1,726	1,726							
			受益者負担額	2,281	2,761	2,761	2,761							
			その他特定財源	3,721	4,141	4,141	4,141							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	8,661	9,728	9,728	9,728										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
15	「健康はむら21」の推進	市の健康増進計画である「健康はむら21」計画を推進するのにあたり、広く市民の健康に対する意識を高めるために「はむら健康の日」をはじめとする事業を、健康づくり推進員や市内の団体と協働して実施した。 また、市広報紙やホームページ、健康づくり推進員だより等を通じて、「健康はむら21」計画の内容や健康づくりに関する情報を広く市民に周知した。	事業費	1,098	1,383	1,383	1,383	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	本事業の究極的な目的は、「自分の健康は自分で守る」という市民が一人でも増え、個々人のライフステージにおいて健康でいられることが、健やかで幸せ【健康】な人生につながることを多くの市民に理解・実践していただくことにある。関連事業の推進により参加者は増加傾向にあり、健康づくりの動機づけに寄与していると考えられる。	現行どおり実施	第2次評価にもあるように、健康保持には動機づけが重要であり、本事業については必要性が高いことからより一層の展開を図っていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	536	697	697	697							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	562	686	686	686										
		事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
16	麻しん(はしか)予防接種の充実	予防接種法の規定に基づき、新たに中学1年生及び高校3年生相当の年齢の者に対して、麻しん(はしか)の予防接種を行った。	事業費	15,704	19,725	19,725	19,725	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 4	効率性 4	有効性 5	改善のうえ実施	法定接種でもあるにもかかわらず、中・高生の麻しん(はしか)に対する意識は高くない。今後とも教育委員会と連携し、対象年齢にある児童や保護者等に対し接種勧奨を行っていく。	改善のうえ実施	予防対策として予防接種は効果があることから、第2次評価にもあるように勧奨対策を実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
事務事業の成果(目標達成度)			一般財源	15,704	19,725	19,725	19,725	接種率は、第1・2期は85%であったが、第3期は72%(目標値90%)、第4期56%(目標値70%)であったため「4」とした。							
接種完了者数 目標値:1,940人 ⇒ 1,641人			事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
17	妊婦健康診査健診料の負担軽減	従来、妊娠中2回の妊婦健診に対して公費負担していたものを、国が求める最低限の5回まで拡大し、健康な妊娠・出産を迎えられるように母体や胎児の健康確保を図った。	事業費	13,354	41,046	41,046	41,046	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 4	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	妊婦と胎児の健康管理や事前に分娩に備えていただくことは安全な出産につながる。少子化対策の一つとして有効と思われる。ただし、国は最低5回の公費健診の実施が必要とするならば、交付税措置でなく実施のための財源負担を行うべきであり、今後とも国や都に財源要望を行っていく。	現行どおり実施	公費健診分については、防衛省の再編交付金を充当しているが、今後、第2次評価にもあるように財源補完を国に要望していくとともに、新たな財源確保について調査研究すること。
			国庫支出金	5,971	9,500	9,500	9,500								
			都支出金	0	11,925	11,925	11,925								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
事務事業の成果(目標達成度)			一般財源	7,383	19,621	19,621	19,621	健診対象者の約9割の方が受診したこと、公費助成の効果があったと思われることから「4」とした。							
健診受信者数 目標値:2,500人 ⇒ 結果値:2,226人			事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
18	ヘルスアップ健診の実施	特定健康診査のフォローアップ事業として、従来の基本健康診査において実施していた検査項目で特定健康診査から外された検診項目を、市独自に追加して実施し、健診水準を確保して市民の健康を図る	事業費	23,508	24,617	30,919	38,910	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 4	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	国の計画では、全医療機関は平成23年度までに電子レセプト請求に移項しなければならぬとしている。仮に、こうしたことが実現し、保険者が受診データを活用できるとすれば、医療機関ごとの重複受診の抑制や検査データの活用にも道が開け、市独自で健診を実施する意義も変化してくると思われる。	現行どおり実施	市民の健康保持のために有効な施策であることから、今後受診者の増加を図るとともに必要な者に対して確実に実施できる体制を保持すること。
			国庫支出金	23,508	24,570	30,872	38,863								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
事務事業の成果(目標達成度)			一般財源	0	47	47	47	国保加入者は当初の受診見込みを超えたが、社保に関しては契約の遅れから特定健診を受診できた人が少なかった影響で、ヘルスアップ健診は、見込みより少なかったため「4」とした。							
平成20年度のヘルスアップ健診については、6,461人の健診受診者があった。			事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
19	公立福生病院の整備	病院の立て替え工事についてはほぼ予定どおりに進み、平成20年10月に第1期のオープンを迎えることが出来た。また、病院運営に関して必要な財政負担を行った。	事業費	318,269	352,545	414,187	413,494	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	病院組合を組織する福生市、瑞穂町とともに、引き続き病院の建て替えや運営を支援し、地域住民から期待され信頼される中核医療機関として確たる地位を築いていただくよう、支援と要請を行っていく。	現行どおり実施	フルオープンに向けて、関係団体と足並みを揃えながら、引き続き新病院の開設及び運営の支援を実施していくこと。なお、財政的に各構成団体ともに苦しい時期を迎えていることから、負担金等については病院組合、構成団体と連絡を密にし、適正な数値の把握に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
事務事業の成果(目標達成度)			一般財源	318,269	352,545	414,187	413,494	組織市町の支援により予定どおり第1期のオープンができた。地域の中核医療機関として存在し続けるためには、医療人材の確保に必要と努めていただく必要がある。							
病院の立て替え工事については、二市一町の支援によりほぼ予定どおりに進み、平成20年10月に第1期のオープンを迎えることが出来た。			事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	子ども家庭部 児童青少年課	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1			事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	事業実施の方向性についての評価	
20	次世代育成支援行動計画・後期行動計画の策定	前期行動計画の年度末における進捗状況の検証 後期行動計画策定に向けてのニーズ調査の実施	事業費	1,603	3,209			達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	進捗状況は順調に推移していることから、今年度分は完了とし、次年度も引き続き実施する。	現行どおり実施	引き続き、計画策定にあたること、平成24年度から次期の長期総合計画が動きだすが、来年度以降策定事務が始まることから、それらとの整合、また、見直し等についても検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	2,000	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
			一般財源	1,603	1,209	0	0							
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	子ども家庭部 児童青少年課	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1			事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	事業実施の方向性についての評価	
21	児童館事業の見直し	児童館事業・運営体制についての検討 西児童館のあり方の検討(用途・施設改修の検討)	事業費	0	0	0	0	達成度 3	効率性 4	有効性 5	改善のうえ実施	平成20年の保育施設等(児童館含む)のあり方に関する報告書で一定の方向性は示されたものの、その後の具体的な計画が出来ていない。今後、市の保育施設等のなかで具体的な実施計画を策定(H21次世代育成支援後期行動計画策定)し、実施していく必要がある。	改善のうえ実施	児童福祉施策の中で児童館をどのように活用していくのか、他の施設の機能との調整など、現行の児童館の位置づけが不鮮明である。市の全体を俯瞰したうえで、児童館の役割、また、他の施設の機能を肩代わりできるかどうかなどを検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
			一般財源	0	0	0	0							
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	子ども家庭部 児童青少年課	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1			事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	事業実施の方向性についての評価	
22	学童クラブ待機児童の解消	学童クラブ増設等の検討 放課後子どもプランの検討	事業費	0	3,000	20,100	10,200	達成度 3	効率性 5	有効性 5	改善のうえ実施	早急な改善が求められていたものの、年度内のまとめ(計画)が出来ていない。平成21年度の改善の取組み(施設整備等)が実施できるよう早急の対応が必要。	改善のうえ実施	第2次評価にある指摘事項を確実に実行すること。
			国庫支出金	0	2,000	11,700	3,400							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
			一般財源	0	1,000	8,400	6,800							
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	子ども家庭部 児童青少年課	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1			事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	事業実施の方向性についての評価	
23	学童クラブ障害児受け入れ学年の拡大	学童クラブにおける障害のある児童受け入れ学年の拡大を検討する。	事業費	9,800	13,200	13,200	13,200	達成度 5	効率性 4	有効性 4	実施について再検討	「児童の放課後対策のあり方に関する報告書」中間審議では、障害のある児童の受け入れを延長することは実施困難となっている。このため本事業は廃止としたい。	休止	障害児の受け入れについては、当面、様々な面から受け入れが難しいことから、本事業については休止とする。今後、状況が変化し、対応が可能となった場合、再度、新規評価に付議し、実施の検討を行うこと。
			国庫支出金	3,789	3,789	1,641	1,641							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	192	192	192							
			起債	0	0	0	0							
			一般財源	6,011	9,219	11,367	11,367							
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	子ども家庭部 児童青少年課	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1			事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	事業実施の方向性についての評価	
24	学童開所時間の延長の検討	学童クラブの開所時間については、通常の月曜日から金曜日が放課後から午後6時、土曜日と長期休業期間が午前8時から午後6時である。保護者のニーズを踏まえ学童クラブ開所時間を前延長と後延長することを検討する。	事業費	0	0	3,093	3,374	達成度 4	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	保護者からの要望があり、指導員のローテーションで対応できる面もあることから検討していく。	現行どおり実施	延長料金や指導体制の課題、更に財源確保などについても、継続して検討を進めること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
			一般財源	0	0	3,093	3,374							
事業費の内訳														

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価		
25	子ども家庭支援センターの充実(先駆型への移行) 事務事業の成果(目標達成度) 専任の虐待対策ワーカーを配置することで、児童虐待の発生に早期に対応することができた。また、早期に対応することで、虐待の抑止効果も大きかった。児童虐待が起きたときの保育園、教育相談室等との調整や児童相談所や警察署等との連携もスムーズになった。	児童虐待対策など、子ども家庭支援センター機能の充実を図るため、先駆型の子ども家庭支援センターに移行する。 ・虐待対策ワーカー(保健師等の資格を持った正規職員)の配置 ・要支援家庭サポート事業(育児支援ヘルパー事業等)の実施(*訪問型子育て支援サービス事業について別に評価) ・在宅サービス基盤整備事業の実施	事業費	4,382	4,900	4,900	4,900	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1 達成度 5 効率性 4 有効性 5	計画どおり完了(終了)	今後は先駆型子ども家庭支援センターとしての事業実績内容の充実を図るため、人員(専門員含む)体制を整備していく。	計画どおり完了(終了)	先駆型への移行については完了とする。専任の虐待対策ワーカーを配置することにより、児童虐待に対し、早期に対応することが可能となったが、今後、保育園、教育相談室、児童相談所などの関係機関と連携し充実を図っていくこと。	
			国庫支出金	0	0	0	0						
			都支出金	12,000	12,000	12,000	12,000						
			受益者負担額	0	0	0	0						
			その他特定財源	0	0	0	0						
起債	0	0	0	0									
一般財源	-7,618	-7,100	-7,100	-7,100									
事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
26	訪問型子育て支援サービス事業 事務事業の成果(目標達成度) 派遣実績 1件(4時間) 育児相談や家事等の支援を行うヘルパーの派遣により、育児不安の解消を図ることができた。	出産後において介助をする者がいない家庭、又は育児ストレス等で心身の不調等により家事や育児等の援助を必要とする2歳までの子育て家庭に、ヘルパーの派遣を行い、当該家庭における安定した子どもの養育を可能とすることを目的とする。	事業費	5	506	506	506	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1 達成度 4 効率性 4 有効性 5	20年4月から事業を開始し、保健センターと連携して対象者を把握する体制ができた。派遣件数は1件だったが、目標を過大に見込んだ可能性がある。	申請から派遣の決定までを迅速に行う手順を整備することができた。対象家庭の把握方法については今後の検討課題とする。	改善のうえ実施	今後は、保健センターの妊婦健診や訪問事業等により対象者を的確に把握することに努める。また、こどもには赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)により積極的な訪問事業を推進する。	改善のうえ実施	産後の支援や児童の保護に有効な事業として実施していくが、各家庭の訪問事業を充実するなど、対象者の把握に努めていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	5	506	506	506										
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
27	地域子育て支援の推進(子育てひろば事業の拡充) 事務事業の成果(目標達成度) 子育てひろば実施事業数 目標値:A型4 B型2 ⇒ A型4 B型2	子育て家庭に対して、身近に集える場所を提供し、子育て相談事業や子育てに関する講座等の実施及び情報提供等を実施する。子育てひろばA型及びB型の2事業がある。 子育てひろばA型・・・児童館3館および、20年度はしらうめ保育園にて事業開始。 子育てひろばB型・・・羽村たつの子保育園及び太陽の子保育園で委託実施。	事業費	14,970	14,970	14,970	14,970	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1 達成度 4 効率性 5 有効性 5	しらうめ保育園においてA型の子育てひろばを開始し、計画どおり推進できた。	A型の1ヶ所増により、子育て中の親が身近な施設で子育て相談を利用したり、親子の事業に参加できるようになり、人的配置や大幅な予算増を行わずに利用増に繋ぐことができた。	親の育児不安を軽減したり親子同士の交流を促進することで、地域とのつながりを作っていくことができる。	現行どおり実施	子育てひろば事業は計画どおりの実施となっている。引き続き事業の充実を図りながら継続的に実施する必要がある。	現行どおり実施	身近な場所で気軽に楽しみながら子育てができる環境を整備していくため、引き続き事業を実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	12,328	12,328	12,328	12,328								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	2,642	2,642	2,642	2,642											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
28	親教育のための連続講座の実施 事務事業の成果(目標達成度) 子育て中の親の育児不安等の軽減が図られ、また講座時以外にも参加者が独自に集まる機会を設ける等仲間づくりにつなげることができた。	親同士が相互に語り合い、学びあうことで、育児不安の軽減が図れるよう、親支援プログラムの一つである「ノーパライズパーフェクトから完璧な親なんかない」を開催し、親の孤立化防止・児童虐待の未然防止を図る。 平成20年9月~10月のうち全6回を実施。 ※対象者:第1子が1歳6か月~3歳である子育て中の保護者(定員10人)	事業費	119	172	172	172	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1 達成度 5 効率性 4 有効性 5	計画通り(年1回)実施できたため「5」とした。	ファミリーーター2名のうち1名は市内私立保育園の保育士を活用し、地域の人材活用を図ることができ、もう1名は、市職員(保育士)とし、支出の抑制に努めたが、初年度のため準備に時間を要したため「4」とした。	参加者の自己肯定感が高まり、育児不安の軽減が図れたと同時に、参加者同士の交流に寄与したため「5」とした。	現行どおり実施	親支援プログラム「ノーパライズパーフェクト」の参加状況はやや低かったものの、初めての事業であり育児不安の解消等で必要性が高い事業であることから、引き続き啓発活動の充実を行い参加者増を図りながら団体育成支援策としても実施していく必要がある。	改善のうえ実施	全般的に、核家族化の下、子育てに不安を持つ親が増え、また、強度の不安から「虐待」に走るケースもマスコミ等で報じられている。親の子育てに対する不安感を拭い去り、親子ともどもすくすくと成長できる社会環境を整備する必要があることから、今後も一つの手法にこだわることなく、様々な手法を視野にいれ検討実施していくこと。なお、その際、地域の方々の参画も視野に入れること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	119	172	172	172											
事業費の内訳															

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
29	子育てボランティアの育成	市で行う子育て事業のサポート(事業の際の保育等)を主とした子育てボランティアを育成する。ボランティアには、地域の保育士、幼稚園教諭などの有資格者や子育て経験者を活用する。当面は、おしゃべり場(3児童館で月1回開催)の企画・運営や児童館で実施している親子講座の補助等を行う。	事業費	30	50	50	50	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	4	5	現行どおり実施	子育てボランティア登録数は目標値をクリアすることができた。今後は登録者の増と活動場所の拡大など、募集方法や活動内容の充実を図る必要がある。	現行どおり実施	福祉行政、特に地域において活動が実践される事業については、行政主体から地域主体、ボランティア主体に転換していくことが今後必要である。そのための道筋として、本事業におけるボランティア活動の推進は有効であることから、今後も積極的に推進していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	30	50	50	50	計画値どおりのボランティアの登録があったため「5」とした。	職員主導となりがちで、ボランティアの自主的な活動を推進することができなかったため「4」とした。	地域の人材をボランティアとして活用し、子育て中の親の支援の幅を広げることで、共助の考えを推進することができたことから「5」とした。								
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
30	認証保育所事業の充実	待機児童の解消のため、B型のチュールリップ認証保育所(定員13名)をA型の認証保育所(定員30名)に移行した。また、認証保育所「あすなろ」を地方裁量型の認定こども園として立ち上げ、定員30名を45名に拡大し、待機児童の解消に努めるとともに、子育て支援事業の充実を図った。このことから、4月当初の待機児童数は2名となり、前年度同時期の18名から16名減少した。	事業費	57,532	59,235	59,235	59,235	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	当初の目標は達成し、定員増が図られた。保育園では今年度も待機児童が発生していることから、保育園・認証保育所・認定こども園等の施設整備が必要であり、そのための支援を引き続き実施して行く必要がある。	現行どおり実施	施設型児童福祉施設については、多様な手法を活用していくことが求められており、特に市場として民間が参入している分野であるため民間活力の活用を中心に引き続き実施していくこと。また、その中で、市立保育園民営化についても結論を出していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	28,697	29,617	29,617	29,617								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0	目標どおり、認証保育所1カ所の定員増と認定こども園1園のスタートができたため「5」とした。	認証保育所の定員増は、既存施設を多少改修するだけで定員増が図られた。また、認定こども園については、そのまま移行できたため「5」とした。	どちらの施設も低年齢児の枠が拡大されたため、待機児童の解消に役立ったため「5」とした。								
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
31	保育所における食育の充実(支援)	市内認証保育所における食育カリキュラムの作成を支援するため、市立保育所の栄養士を認証保育所に派遣し、食育カリキュラム作成について支援した。(20年度1園・21年度1園・22年度1園)	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	認証保育所についても食育の充実が求められており、市内の保育施設の環境充実のための施策の中でも、負担の少ない事業として引き続き実施する必要がある。	現行どおり実施	食育については、保育園等の施設型児童福祉施設においても必要であるが、家庭での取組みが重要である。このため、食育に関する情報等を保育園を通じて保護者に発信するなど、広がりを見せる取組みとしていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0	認証保育所1園について、食育カリキュラム作成について支援し、カリキュラムの作成ができたことから「5」とした。	市で雇用している栄養士を派遣し支援を行い、特別の支出はなかったため「5」とした。	食育カリキュラムを作成することで、子どもの健全な食生活の実現及び健全な心身の成長が図られるため「5」とした。								
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
32	認定こども園設置・運営の支援	平成20年度からスタートした地方裁量型の認定こども園の運営費の補助を行うとともに、平成21年度開所予定の幼稚園型・年齢区分型の認定こども園について、東京都との調整等設立に向けた支援を行った。	事業費	39,254	30,579	30,579	30,579	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	保育事業の充実と待機児童の解消の施策として有効であり、引き続き支援していくことが必要である。	現行どおり実施	施設型児童福祉施設については、多様な手法を活用していくことが求められており、特に市場として民間が参入している分野であるため民間活力の活用を中心に、引き続き認定こども園の増設のための設立支援を行っていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	19,937	15,433	15,433	15,433								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0	当初目標の認定こども園1園のスタートが4月当初からできたため「5」とした。	認証保育所からの認定こども園の移行であり、施設整備費等の負担が生じることなく設立できたため「5」とした。	低年齢児枠の拡大により待機児童の解消に寄与でき、一般家庭への支援を含む地域子育て支援(子育て相談等)が充実したため「5」とした。								
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標 I 支えあい いきいきと暮らせるまち【福祉・健康の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
33	第三者評価の促進(支援)	福祉サービスの質の向上と、利用者の適切なサービス選択に役立てる目的に、認証保育所1園で第三者評価を実施するための支援を行った。	事業費	500	2,400	3,000	2,400	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	4	5	現行どおり実施	福祉サービス(保育サービス)の質の向上と評価は、時代の変化とともに利用者から求められており、法整備とともに第三者評価の必要性は高い。私立保育園での取り組みは園により異なるが、数年先の完全実施を目指す必要性は高い。	現行どおり実施	市民のニーズをよく研究し、適切な保育サービスを提供していくためにも、第三者評価の必要性は高い。今後も保育サービス全般に反映していけるよう評価システムの充実を図っていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	500	1,800	1,800	1,800								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	0	600	1,200	600											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
34	家庭福祉員の充実	認可保育園と連携する家庭的保育事業を行う家庭福祉員の増員を図る。	事業費	16,648	15,516	15,516	15,516	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	認可保育園と連携する家庭福祉員については、数値目標をクリアしている。法改正により、家庭的保育事業として法的に位置付けられたことから、今後も引き続き充実を図る必要がある。	現行どおり実施	子どもを安心して生み育てることができる環境を整えていくために必要な事業であることから現行どおり実施とする。今後も保育園等の連携整備を図り、相互協力体制等を充実していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	9,336	7,308	7,308	7,308								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	7,312	8,208	8,208	8,208											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
35	オストメイト対応型トイレの設置	オストメイト(人工肛門や人工膀胱をつけて生活する人たち)が安心して外出できるよう、オストメイト対応型トイレを整備する。	事業費	360	0	390	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	障害のある方が、安心して外出できるように、今後も公共施設にオストメイト対応型のトイレを設置していく。	現行どおり実施	オストメイト対応型トイレの設置が着実に実施され、誰にもやさしい福祉のまちづくりが推進されていることは評価できる。今後も計画に基づき効果的な整備を進めていくものとする。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	360	0	390	0											
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
1	多摩島しょ子ども体験塾の実施	東京都市長会から提言に基づき、次世代を担う子どもたちが、感動体験や驚き体験を通してチャレンジ精神や豊かな感性を育んでいくための事業として、多摩島しょ子ども体験塾事業『ゆとりぎ大恐竜展』を、8月19日～24日まで生涯学習センターゆとりぎにおいて実施した。	事業費	4,300	4,300	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	本年度については、青少年に貴重な体験学習の場を提供できた。また、次年度についても延長措置がとられたことから、さらに新たな分野で体験塾を実施すること。	現行どおり実施	東京都市長会からの提言にもあるように、羽村の子どもたちが感動体験や驚き体験を通してチャレンジ精神や豊かな感性を育んでいくための事業として実施できた。特に化石発掘という貴重な体験が実施できたことは所期の目的を十分達成したと考える。延長実施となった平成21年度についても、新たな分野などに目を向け実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	4,500	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	-200	4,300	0	0											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
2	「青少年健全育成の日」の充実	市内7つの青少年対策地区委員会が中心となり、実行委員会形式により青少年健全育成の日の事業運営を行っている。平成20年度に引き続き、生涯学習課所管の「子どもフェスティバル」と児童青少年課所管の「青少年健全育成の集い」及び「青少年のフェスティバル」を同時期に実施し、両事業の連携・充実を図る。	事業費	1,664	1,685	1,685	1,685	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	生涯学習課と児童青少年課所管事業を同時期に実施し、両事業の連携・充実を行い効率化を図っている。引き続き内容の充実を図りながら実施する必要がある。	現行どおり実施	本事業は、青少年子どもを対象とした大きな事業として定着しており、参加者も年々多くなっている。今後も地区委員会等とお連携し、教育部とも調整してより一層の充実を図っていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	831	842	842	842								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	833	843	843	843											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
3	学校図書館教育の充実と体制整備	羽村市読書活動推進計画や国が定めた新学校図書館図書整備5か年計画に基づき、学校図書館の蔵書の整備・更新を推進するとともに、巡回司書による読書環境の向上を図る。また、学校図書館管理システムの未設置校への導入の準備を進める。	事業費	5,830	7,340	7,340	7,340	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	学校図書館は学校教育の中でも重要な役割を果たしている。蔵書数について国の図書整備計画の基準を満たすべく予算を加重配当するなどし、図書の充実を図った。また、巡回司書の配置増により図書館の整備を図ることができた。学校図書館管理システムの未設置校への導入準備は着手できなかった。	現行どおり実施	平成20年度については、巡回司書の増員配置や学校図書館の蔵書図書の充実を図ることができた。今後も引き続き、子どもたちの読書環境の充実を図るため、新学校図書館図書整備5か年計画に基づく学校図書館の蔵書整備を進めるとともに、羽村市図書館を活用した連携事業の検討等を進めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	5,830	7,340	7,340	7,340											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
4	教育委員会の権限に属する事務の点検評価	法の規定に基づき、平成19年度の教育委員会の権限に属する事務の点検評価を行った。また、学識経験者の知見を活用を図った。点検評価の結果については、平成21年3月に議会に報告し市民に公開した。有識者謝礼 9,000円×2回×2人=36,000円	事業費	36	54	54	54	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	法の規定に基づき19年度から新たに実施した事業であるが、予定どおり議会への報告書の提出、市民への公表ができた。今後は、点検・評価を念頭におき、成果・目標が数値化された分かりやすいものとする必要がある。	現行どおり実施	法の規定に基づき今後も着実に実施していくものであるが、今後の課題・問題点等においても記載されているように、事務の点検評価を行う上で必要となる成果目標の設定について検討を進めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	36	54	54	54											
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
5	保護者負担軽減等交付事務	市内小中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学校行事等に要する経費の一部又は全部を補助することにより、保護者負担の軽減を図るとともに、教育の充実を図る。 (小学校入学記念品費・副教材費・修学旅行費・移動教室費・演劇鑑賞教室費・社会科見学バス借上費、卒業記念品、部活動大会参加費及び交通費、小学校音楽活動大会参加費及び交通費など)	事業費	55,957	61,912	61,912	61,912	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	教育費の負担軽減が求められる中で、各種教育活動に関して保護者負担の軽減が図られた。特に、昨秋以降には景気の後退に伴う所得の急激な低下に対応するため、年度途中での申請受付を行うなど、きめ細かな対応が図れた。	現行どおり実施	児童・生徒の教育環境の充実と教育の機会均等を図るために有効な事業であり、継続するものとするが、より効果的で効率的な支援方法等に関する調査や研究等も進めておくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	55,957	61,912	61,912	61,912	事業費の内訳	学校行事等に要する経費のうち、一部又は全部を補助し、保護者の負担軽減を図った。	保護者負担軽減のうち、就学援助事務については、システムが導入されていないため申請、認定、決定、支給等の作業の効率が低い。	法に基づき実施している事業であり、教育環境の充実と、教育の機会均等の観点から有用である。							

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
6	就学相談及び特別支援学級、通級指導学級の充実	学校教育法等の改正により、教育上特別な支援を要する児童・生徒のために専門的な指導を行う特別支援学級及び通級指導学級を設置、運営した。また、障害に応じた適正な就学を図るため、年間を通じて就学相談を実施した。	事業費	17,243	20,095	20,095	20,095	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	障害を持つ児童・生徒に対し、そのニーズに応じた適切な就学指導を行った。特に発達障害を持つ児童・生徒の通級学級に対する希望が増加しているため、施設面を含めた対応が必要となる。また、特別支援教育体制という点で、事務局体制の再編が必要である。	現行どおり実施	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒のために、今後も継続的に実施していく必要がある。なお、事業実施に関する課題については、関係部署との協議等を進め、可能な範囲で改善を図ること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	17,243	20,095	20,095	20,095	事業費の内訳	個別指導を必要とする児童・生徒については、保護者、学校、教育委員会が、現状の中で児童・生徒にとって最善と思われる処遇となるよう努めた。	職員1名、嘱託職員1名で対応している。	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒のため必要な事務事業である。							

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
7	学校給食費の収納事務等の支援	学校給食の申込制度を導入した。また、学校の給食費収納事務の支援を行った。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 4	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	給食申込制度は学校給食についての理解とともに、給食費の性格を啓発できたと考える。また、本制度が法的措置を進めるうえで保護者との契約という位置づけであるため、これに基づく督促、配達証明付督促までの事務を進めた結果、ある程度の成果は得られた。ただし、給食組合との協議による法的措置の準備は進められなかった。	改善のうえ実施	学校給食費の収納事務は、本来学校給食組合の業務である。しかし、収納状況が大きく改善がされない現状にあるため、教育委員会としても主体的な取り組みを実施する方向で、関係機関との調整を進めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	0	0	0	0	事業費の内訳	給食申込制度は全ての保護者の申込みがあるため、情報の一元化が図れていない。このため、事務の効率化が図れていない。	給食費徴収事務が学校と組合で分担しているため、情報の一元化が図れていない。このため、事務の効率化が図れていない。	給食費に関する事務は、本来、組合が所管するものであるが、未納により食材の質の低下など、子どもたちの食に直接影響があるため、教育委員会が支援をしていくことは有用である。							

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
8	東京都町村教育委員会連合会会長市としての事務	東京都町村教育委員会連合会(39団体加入)の会長市として会を運営した。	事業費	552	861	220	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	輪番制での事務局運営であるが、遺漏なく事務をこなし対外的にも評価をいただいた。2年間の運営であるため、次年度も遺漏のないよう事務を進めていきたい。	現行どおり実施	平成22年5月の総会までの間、会長市として、引き続き、連合会の円滑な運営に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	552	861	220	0	事業費の内訳	連合会が計画した事務事業は予定通り執行できた。	事務量が増加することが見込まれたが、臨時職員を雇用することで対応した。	教育委員会連合会の運営を円滑に行うことに寄与できた。							

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
9	学校施設の整備事業	小中学校の校舎、体育館、校庭等の施設の維持管理や修繕等を行い、児童・生徒がいきいきと安心して学べる環境の整備を図るとともに、新たな教育ニーズに対応した学習環境を整えるため計画的に学校施設整備を実施する。羽村東小学校:外壁補修工事 松林小学校:学校図書館整備事業 羽村第三中学校:防音機能復旧工事 全校:学校施設修繕	事業費	232,974	172,681	50,000	50,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	学校の工事については、夏休み等、学校が休業の間に効率よく行う必要があるが、計画どおり実施できた。今後も、計画的に学習環境の整備を図る必要がある。	現行どおり実施	関係部署との連携を図りながら、公共施設のストックマネジメント計画に基づく施設の適切な維持管理に努めること。
			国庫支出金	136,770	111,653	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	96,204	61,028	50,000	50,000										
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
10	特色ある学校づくり交付金の支給	小・中学校の特色ある学校づくりを支援するために交付金を支給する。	事業費	8,785	10,000	10,000	10,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	学校教育の充実を図るため、各校ともこの予算を前提に教育計画を作成していることから、今後も継続して実施する。	現行どおり実施	市内各校の教育活動の充実を図るため、今後も重視し実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	8,785	10,000	10,000	10,000										
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
11	地域ボランティア・職場体験サポート事業の実施	社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成することを目的に実施する中学生の「職場体験サポート事業」の受け入れ先の開拓や機運の醸成等、中学生の職場体験事業の円滑な推進を図る。	事業費	83	167	167	167	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	キャリア教育の充実に必要な成果をあげることができた。また、羽村市全体で子どもたちを育てる一つの流れが出来てきた。今後も、ぜひ実施していきたい。	現行どおり実施	学校と受け入れ先の調整など、運営面の課題解決に取り組む、受け入れ先の新規開拓を図りながら実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	83	167	167	167										
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
12	学習サポーターの配置	各小学校に1名の学習サポーターを配置し、学校の授業改善推進プランの推進を支援する。	事業費	6,229	6,032	6,032	6,032	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	サポーターの配置によって、学力向上に大きな成果をあげることができた。今後も基礎・基本の定着と更なる学力向上のため、継続実施が必要である。	現行どおり実施	第1次評価および第2次評価ともに、費用対効果や学力向上の面において成果が見られることから、その成果を維持できるように人材の継続確保に取り組むこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	6,229	6,032	6,032	6,032										
事業費の内訳														

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
13	特別支援教育の推進と支援員の配置	特別支援教育を推進するために、校内における支援体制の整備をすとも、都立の特別支援学校に在籍する児童・生徒が居住地校と交流を行う副籍事業等を実施する。その他、様々な障害のある児童・生徒に対する学習や学校生活の支援などを行うための特別支援教育支援員を配置する。特別支援教育連絡協議会を開催して、関係機関との連携を図り、特別支援教育の推進や、課題の解決に努めてきた。	事業費	5,808	6,402	6,402	6,402	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	配置により、特別な支援を必要とする子どもへの有効な手立てとなり、今後も効果が期待されることや、学校からの支援に対する期待も大きいことから、継続の実施が必要である。	現行どおり実施	計画通り実施するとともに、さらなる充実を図ること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	5,808	6,402	6,402	6,402										
事業費の内訳														

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
14	教育相談体制の充実	教育相談室において、いじめや不登校等の問題を早期に発見し、解決するために来所相談及び電話相談、小学校への巡回相談等を実施する。また、教育相談体制の充実を図り、児童・生徒や保護者の不安・悩みを解消していく。	事業費	20,999	21,442	21,442	21,442	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	5	5	5	現行どおり実施	教育相談の有効性が理解されるにつれ、その需要はますます高まっている。今後も、相談者や学校のニーズに応じた弾力的な体制づくりが必要である。	現行どおり実施	継続して相談体制の充実を図るが、内容については費用対効果を常に意識しながら充実を図り、児童・生徒、保護者の悩みや不安の解消を支援すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	1,968	2,607	2,607	2,607								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	19,031	18,835	18,835	18,835											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
15	小・中一貫教育構想の検討	義務教育9年間を通してよりきめ細かな指導を行い、児童・生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすことができる小・中一貫教育を検討する。	事業費	149	434	434	434	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	5	5	5	現行どおり実施	義務教育の充実のためには、重要な施策と考えている構想が実現できるよう、今後は保護者や地域の意見を聞いて、基本計画づくりを進めていく。	現行どおり実施	保護者や地域への理解を深めながら、計画通り進めていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	149	434	434	434											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
16	学校適応指導教室「ハーモニースクール・はむら」の運営の充実	市内の小・中学校に在籍する不登校児童・生徒の学習指導、人間関係づくり、心理的安定などに取り組み、学校復帰のための支援を行うために学校適応指導教室「ハーモニースクール・はむら」の運営を充実する。	事業費	4,100	4,200	4,200	4,200	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	5	5	5	現行どおり実施	不登校児童・生徒の居場所、学習の保障の場として有効に機能しているが、不登校生がハーモニースクールにつながることや、学校復帰への課題もあることから、更なる充実が求められる。	現行どおり実施	第2次評価に記載されているとおり、ハーモニースクールが不登校児童・生徒の学校復帰のためのステップアップの場として機能し、その有効性を生かすためにも、一連の流れを止めないよう、対策に取り組むこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	4,100	4,200	4,200	4,200											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
17	羽村市生涯学習推進基本計画(改訂版)の策定	第3次羽村市生涯学習推進基本計画を見直し、生涯学習をめぐる新たな動きを反映し、なおかつ羽村市長期総合計画後期基本計画と整合性をもった、同計画の「改訂版」を策定する。(生涯学習基本計画審議会の開催、パブリックコメント、基本計画の策定)	事業費	667	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	5	5	5	計画どおり完了(終了)	市の生涯学習施策を全庁的に推進していく根幹となる計画であり、平成23年度までの生涯学習施策の年次ごとの進捗管理と総合的な推進体制が整備できたため、計画通り完了とする。	計画どおり完了(終了)	計画どおり実施できるように、年度ごとの進捗管理を行い、着実に実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	667	0	0	0											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
18	生涯学習まちづくり出前講座の充実	現在行われている職員による出前講座以外に、官公署・企業等の講師による出前講座メニューを増やすためにそれぞれに働きかけを行い、生涯学習まちづくり出前講座の充実を図る。	事業費	7	10	10	10	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	5	5	5	現行どおり実施	市民の自主的な学習活動を市職員が講師として支援することにより、市の施策等に対する理解を深めるとともに、生涯学習の成果をまちづくりに生かしていくことができるため、現行どおり実施とする。	現行どおり実施	事業の有効性や効果をとらえ、生涯学習の成果として市民参画を推進していくために、市民のニーズを汲み取り、多くの市民が参加するような魅力ある開催内容に工夫しながら実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	7	10	10	10											
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
19-1	市民と協働した芸術鑑賞事業の実施	市民と協働した芸術鑑賞事業や市民の生涯学習活動に対する市独自の芸術鑑賞事業を実施する。	事業費	17,584	18,735	18,735	18,735	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	平成20年度の事業実績から、第1次評価は適切であるとする。	現行どおり実施	文化そのものが主観的であるがゆえに、多岐にわたる内容を企画していく必要があるため、今後も市民との協働により幅広いテーマの芸術鑑賞事業を展開できるように、二一ズの掘り起こしに引き続き取り組むこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	17,584	18,735	18,735	18,735										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
19-2	芸術家作品展等の実施	市内芸術家等の作品展をゆとりぎ展示室等を利用して開催する。	事業費	1,575	1,800	1,800	1,800	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	現行どおり実施	達成度が目標値を下回ったが、作品のジャンルなどにより市民の価値観に違いがあることは否定できない。しかし、全体的には、市内外の芸術家の作品を紹介し好評を博している。特に、市内の隠れた芸術家の掘り起こしなど、市民組織の情報を最大限に生かした協働事業として展開していること、生涯学習の観点からの価値がある。	現行どおり実施	設定した目標を達成できるよう、各方面への事業周知を図ること。また、市内の芸術家育成や市民の文化振興にも寄与する事業のため、継続して市内の芸術家掘り起こしを実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	1,575	1,800	1,800	1,800										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
19-3	市民との協働による市民講座の実施	市民組織との協働により、暮らしや生活などをテーマとした市民講座、陶芸や絵画などの教室などを、市民講師等の活用により開催する。	事業費	2,336	2,405	2,405	2,405	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	平成20年度の事業実績等から第1次評価は適切であるとする。今後は、時流に即したテーマや市民ニーズを反映させた講座を開催するためには事前の準備の積み重ねが重要であることや、講座に多くの参加者を得るためにはPR等の充実が不可欠であることを踏まえて事業を実施していく必要がある。	現行どおり実施	更に市民協働を推進し実施していくこと。また、内容によっては施策の担当課との共催も視野に入れること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	2,336	2,405	2,405	2,405										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
19-4	高齢者への生きがいがづくり・地域社会に関連した市民講座の実施	高齢者への生きがいがづくりなどをテーマとした市民講座を実施する。(事業費については市民講座の再掲)	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	平成20年度の事業実績等から、第1次評価は適切と考える。	現行どおり実施	本事業については対象が高齢者とされているため、高齢者のニーズに沿いつつも、他の年代にも広げられるテーマで開催できるように工夫すること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	0	0	0	0										
		事業費の内訳	※19-3の事業費に含む。	※19-3の事業費に含む。	※19-3の事業費に含む。	※19-3の事業費に含む。								

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価			
20	市民組織への助成	生涯学習センターゆとろぎで実施する芸術鑑賞事業や市民講座の一部を市民組織と協働して進めるため、市民組織への助成を行う。なお、協働事業を円滑に実施するため、「羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営協議会」を設置し、同協議会での協議結果に基づき、事業案を決定している。	事業費 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財源 起債	18,477 0 0 0 0 0	18,787 0 0 0 0 0	18,787 0 0 0 0 0	18,787 0 0 0 0 0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	平成20年度の事業実績から、第1次評価は適切である	現行どおり実施	「市民の会」の存在意義、支援に対する効果について十分に考慮し、より「市民の会」の機能を発揮できるように支援していくこと。また、新しい意見を取り込めるように、新たな会員確保に取り組むこと。	
	事務事業の成果(目標達成度)							開館3年を超過して市民協働事業の展開も軌道に乗りつつあること、また満足度等から、達成度については「5」とした。	協働事業の費用対効果が単純には推し量れない面があるが、市民ニーズに沿った事業展開と、直接交渉による経費削減が図れることから、効率性については「5」とした。	生涯学習のまちづくりを推進するとともに、人材活用を図ることができることから、有効性については「5」とした。						
	参加者の満足度	目標値:80% ⇒ 結果値:84%														
	事業費の内訳															
	一般財源															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価			
21	ゆとろぎレセプション養成講座の実施	生涯学習センターゆとろぎでの催しの際に、来館者の案内やエスコートなどを行うレセプションのフォローアップを行うとともに、レセプションを確保するための新規養成講座を開催し、来館者へのサービスの向上を図っている。	事業費 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財源 起債	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	平成20年度の事業実績から、第1次評価は適切である	現行どおり実施	レセプションは、来館者にゆとろぎのイメージを与える立場にあるため、継続して資質向上を図ること。	
	事務事業の成果(目標達成度)							新規養成講座の開催により新たに9人の増員が図れたことから、達成度については「5」とした。	有償ボランティアの活用と、来館者の満足度の向上を図れたことから、効率性については「5」とした。	来館者に対する案内等のサービス提供により、ゆとろぎだけでなく羽村市のイメージアップにつなげ、リピーターに確保など生涯学習事業の充実を図れることから、有効性については「5」とした。						
	レセプションの資質向上とサービス向上を図り、来館者の満足度を向上させる。	平成20年度新規養成講座により、新規のレセプション9人を確保し、現在活動中である。														
	事業費の内訳															
	一般財源															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価			
22	子ども向けホームページの開設	新電算システムを活用した「子ども向けホームページ」を開設し、児童図書など関係する情報提供に努めた。	事業費 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財源 起債	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	子ども向けホームページを開始した意義はあるが、今後はアクセス状況などを把握し、子どもの読書活動の推進につながっているかを検証する必要がある。	現行どおり実施	子どもの読書活動推進に資するものであるため、子どもの視点に立った、アクセスしやすいホームページに工夫し、子どもが知りたい情報を盛り込んだページ作りに取り組むこと。	
	事務事業の成果(目標達成度)							子ども読書活動推進に向けての図書の情報提供できたため、達成度については「5」とした。	自宅で図書館のホームページをアクセスすることにより、図書館に向くことなく必要な情報が入手できることから、効率性については「5」とした。	子どもや保護者への読書情報として、児童図書などの情報提供に努めることにより、読書活動の推進につながることは「5」とした。						
	子どもホームページを開設し、子どもや保護者への読書情報として、児童用図書などの関係する状況提供に努めることができた。															
	事業費の内訳															
	一般財源															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価			
23	総合的な資料収集と整備	市民の学習活動、問題解決、自己の知的欲求など多様な要望に対応するため、図書、視聴覚資料、雑誌等を整備・拡充に努めた。	事業費 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財源 起債	16,154 0 0 0 0 0	16,114 0 0 0 0 0	16,114 0 0 0 0 0	16,114 0 0 0 0 0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	第一次評価は妥当であるが、今後は、生涯学習の観点からニーズを把握し、資料の収集に努める必要がある。また、そのために司書の資質の向上が必要である。	現行どおり実施	資料収集については、独自方針の下における選書過程により、今後も充実を図ること。資料整理については、司書の資料組織化スキルを向上させ、管理しやすく取りやすい手順に工夫すること。	
	事務事業の成果(目標達成度)							市民の学習活動、問題解決や多様な要望に対応するための図書、視聴覚資料等の整備をすることができたため、達成度については「5」とした。	図書等の選定から配備までは、職員がそれぞれの分担作業で行っているが、データ入力・確認、現物チェックなどの工程をクリアするための人的作業があるため、効率性は「4」とした。	時代に即した情報提供するための図書館としての役割を果たしているため、有効性は「5」とした。						
	図書及び視聴覚資料	目標値:6,350点 ⇒ 8,874点														
	事業費の内訳															
	一般財源															

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
24	読書活動推進のための市内連絡会議の設置 事務事業の成果(目標達成度) 子ども読書活動推進計画と関係部署との関わりを明確化による事業の推進、計画状況の進行状況の把握など調整を図ることができた。	子ども読書活動を推進するため、図書館、児童館、学校、保育園、保健センターなどの関係する機関・施設による市内連絡会議を設置し、情報交換及び連携を図った。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	現状の評価は妥当であるが、今後は連携にとどまらず、市全体の子どもの読書活動の推進をどう図っていくか、各施設の検証や見直しを図ることができるため、有効性は「5」とした。	現行どおり実施	庁内組織は設置できたため、以後は子どもの読書活動推進に向けたそれぞれの役割分担と資料の分担について取り組むこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	0	0	0	0											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
25	総合型地域スポーツクラブの発足・運営支援 事務事業の成果(目標達成度) 1回/週以上のスポーツ実施率 目標値:50% ⇒ 結果値:38%	平成20年度に、引き続き、東京都から地域スポーツクラブ設立モデル事業を受託(3年間の3年目)。運営、情報提供などの支援を行う。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	地域における生涯スポーツ社会の実現に向け、「総合型地域スポーツクラブ」は、必要であり、市民のニーズを的確に捉え、行政として適切な支援を引き続き行う必要がある。	現行どおり実施	発足は終了したため、今後運営支援を継続して行い、充実を図ること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	0	0	0	0											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
26	スポーツリーダー制度 事務事業の成果(目標達成度) スポーツリーダー登録者数 目標値:80人 ⇒ 結果値:54人	地域のスポーツ活動団体の指導者等の資質向上と指導力の向上を図り、自ら所属するスポーツ活動団体の安全管理の向上や活性化を図ることを目的に、スポーツリーダーの養成、認定及び登録を行う	事業費	150	120	120	120	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	スポーツ活動団体の指導者の資質及び指導力の向上を図るとともに、市民の生涯スポーツを支えるための事業として、また、市民の生涯学習の成果を生かす場づくりの事業として必要である。	現行どおり実施	認定は終了したため、平成23年度の長期総合計画終了年度時に、今後の方針について検討すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	150	120	120	120											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
27	第68回国民体育大会の開催に向けた取り組み 事務事業の成果(目標達成度) 市民各界・各層の協力による国体を実施することにより、市民のスポーツへの関心を向上させるとともに、市民協働のまちづくりを推進することができる。	平成25年9月から10月の予定で行われる第68回国民体育大会バレーボール競技成年女子の会場に決定していることから、それに向けた準備や施設の改修を行う。(施設改修については施設計画課において行うが、平成24年度の耐震補強工事と合わせて実施する予定である。)平成21年度羽村市準備委員会設置、平成22年度に実行委員会設置、平成24年度リハーサル大会の実施。平成25年度国体競技会実施。	事業費	0	222	2,500	4,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	東京大会を成功させるため、地区会場市として、東京都や近隣市町村と連携を密にして、計画的に準備を進める必要がある。	現行どおり実施	東京大会成功に向けて、着実に実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	0	222	2,500	4,000											
事業費の内訳															

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
28	第6回多摩川スリーデイウォークの実施	市民の健康・体力づくりの推進を図るため多摩川スリーデイウォーク事業を実施し、市民の健康づくり活動を支援するとともに、併せて、この事業を通じて、羽村市を内外にアピールするイベントとして開催する。 【内容】3日間にわたり、1日約18Kmをウォーキングした。 第1日目 多摩川河口→二子玉川 63名 第2日目 二子玉川→中河原 64名 第3日目 中河原→羽村の堰 32名(雨天) 合計159名	事業費	61	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	計画どおり完了(終了)	今まで6回のスリーデイウォークを実施したが、ほぼ当初の目的を達成したため、今回で終了とし、他のウォーク事業と整理・統合、新たな形でウォーク事業を実施していく	計画どおり完了(終了)	現在の事業については終了とし、東京都の類似事業の発足に伴う参加者減を含め、今後の事業展開については十分に検討すること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	61	0	0	0										
			事業費の内訳											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
29	文化財説明板の改修・設置	最新の研究成果を反映するため文言の修正が必要なもの及び経年劣化により傷んでいるものの改修を文化財保護審議会に図り、10月を目途に実施する。 市民等が文化財を理解し、より興味や関心を高め、文化財の重要性を認識してもらうことができる。	事業費	70	200	200	200	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	市内にある貴重な文化財を紹介し、先人の生活や知恵を伝えていくことにより郷土愛を育む環境を整備することができた。今後も文化財保護審議会に諮り、適宜必要な箇所を改修又は設置していく。	現行どおり実施	今後も計画的に改修・設置を実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	70	200	200	200										
			事業費の内訳											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
30	東京都指定天然記念物「阿蘇神社のシイ」保存修理	支柱の設置や枯れ枝の切除などの保存修理に補助金を交付する。 支柱の付け替え、樹勢回復のための修理工事を21年2月までに実施する。 羽村市を代表する古樹であるシイの樹木の延命が図れるとともに、文化財としての景観を維持することができる。	事業費	3,203	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	歴史ある貴重な資源を維持し、後世にその姿を残していくための整備ができた。今後も定期的に文化財の点検等を行い維持管理に努めていくこととする。	現行どおり実施	東京都の補助を受けた補強維持事業については終了とし、今後の維持管理については、検討すること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	2,081	0	0	0							
			受益者負担額	561	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	561	0	0	0										
			事業費の内訳											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
31	ボランティアの参加による里山づくり	郷土博物館の裏山を、ボランティアの参加をいただき、里山づくりを実施する。 4月1日の広報でボランティアを募集し、4月半ばに説明会を開催し登録を受付(30名を予定)、5月には一部の樹木の伐採をはじめ、時期に合わせた各種の事業を実施する。	事業費	80	72	70	70	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	季節に応じた里山を整備することにより、自然を守り、維持していくことの重要性を伝え、同時に環境保護意識の高揚を図れた。今後は敷地の有効的な利用を検証していくとともに、より多くの方に里山を紹介することにより、里山以外の自然環境の保全意識の高揚を図ることとする。	現行どおり実施	里山づくりについての方針を再確認し、計画的に実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	80	72	70	70										
			事業費の内訳											

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅱ 学びあい豊かな心を育むまち【教育・生涯学習の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価 高5~中3~低1)			事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)			
32	インターネットにより資料の公開	ホームページ等を利用して、土器や民具などに関する情報提供の充実を図る。 事務事業の成果(目標達成度) 平成20年度より公開のための調査・研究を行う。10月を目途に資料の一部について写真の取り込み、説明文作成、校正等を行い、ホームページ掲載に必要な情報の整理を行う。	事業費	0	0	0	0	達成度 5 効率性 5 有効性 5	説明方法を工夫し、土器や民具などを分かりやすく紹介できたため達成度は「5」とした。	サーバー管理等は他課扱いのため設備等に要する経費はなく、既存の資料を活かした記事をインターネット上に公開できたため効率性は「5」とした。	市の歴史等を紹介していくことが必要であることから有効性については「5」とした。	現行どおり実施	多くの資料の中から題材を選び、ホームページに紹介し、市の歴史等を紹介することができた。今後はまだ紹介されていない資料についても検討し、適宜ホームページを更新し、紹介方法を工夫していくこととする。	現行どおり実施	今後も紹介方法を工夫し、充実を図りながら、より利用度を高めていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	0	0	0	0											
			事業費の内訳												
33	企画展の実施	羽村市の歴史と文化を伝えるため、魅力あるテーマに沿った企画展を実施する。 事務事業の成果(目標達成度) 4月は、「懐かしのうた、思ひ出のうた」、5月~7月新収蔵資料展(生活民具等)、8月は共催企画の平和展、9月~12月は「大菩薩峠・舞台と映画」、1月は「まゆ玉飾り」「むかしのくらし」1月~3月「ひな人形展」	事業費	150	150	150	150	達成度 5 効率性 5 有効性 5	市の貴重な歴史遺産や季節に応じた行事を適切に紹介することができたため達成度は「5」とした。	既存の資料等を活用し展示を行うことができたことから効率性については「5」とした。	歴史等を紹介するための企画展を展示内容に応じて適切に実施できたことから有効性は「5」とした。	現行どおり実施	歴史資産を内容に応じ適切に分かりやすく展示し、市民及び市外の方にも市の文化や歴史を紹介することができた。今後は適宜他の部署とも連携し必要な情報を集め、企画展のより一層の充実を図っていく。	現行どおり実施	季節性や地域性を活かしたテーマの企画展を引き続き実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
			事業費の内訳												
34	埋蔵文化財の発掘調査	埋蔵文化財包蔵地内の開発に伴う遺跡の有無確認のための試掘調査を実施する。 事務事業の成果(目標達成度) 試掘調査は、4月又は5月に実施する予定である。万一、埋蔵文化財が出た場合には事業者負担による発掘調査を行い、記録保存を行う。	事業費	126	0	0	0	達成度 5 効率性 5 有効性 5	定められた箇所についての試掘調査が適切に実施できたことから達成度は「5」とした。	規定、前例に則って処理し、計画どおり効率的に実施できたため「5」とした。	市民の生活と、その土地の中にある文化財を守り保護していくため必要な事務であることから「5」とした。	現行どおり実施	貴重な遺産を保護していくための調査を適切に行うことができた。今後も調査を行う必要ができた場合は周辺市民への説明等を適切に行い実施していく。	現行どおり実施	今後も適宜試掘を行い、文化財保護や調査研究に寄与しつつも、周辺市民への説明については適切に実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
			事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅲ環境にやさしい安心して暮らせるまち【環境・安全の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	総務部 生活安全課
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	
1	地域防災計画の推進と災害時行動マニュアルの作成 事務事業の成果(目標達成度) 総合防災訓練の実施に先駆け、各自に行動マニュアルを配布したことにより、震災、風水害に対する予防対策、応急対策などについて、市民の身体、生命、財産を守るための近隣市に先駆けることができた。	防災体制をさらに充実させるため、「羽村市地域防災計画」に基づき、職員及び自主防災組織用の災害時行動マニュアルを作成し配付を行なった。	事業費	254	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	計画どおり完了(終了)	職員をはじめ、町内会・自治会等関係者に防災計画の概要が理解できるマニュアルを作成できた。今後は、実効性のある計画として推進していく。	計画どおり完了(終了)	災害は発生予測が難しいことから、職員等には携帯マニュアルを配布したところである。今後、このマニュアルを活用して、防災訓練を始め、普段から災害発生時への対応を可能とする防災体制の整備、防災意識の向上等を図っていくこと。	
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性					有効性
			都支支出金	0	0	0	0	5	5					5
			受益者負担額	0	0	0	0	当初計画のとおり、作成配付を行なったことから「5」とした。	総合防災訓練前の8月に職員・自主防災組織に配付し、意識向上と体制の強化を図ったことから「5」とした。					改定を行なった地域防災計画に基づき、マニュアルを作成し、関係者に配付したことにより一層の防災体制の強化が図ることができたため「5」とした。
			その他特定財源	0	0	0	0							
一般財源	254	0	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	総務部 生活安全課
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	
2	生活安全条例の施行・運用 事務事業の成果(目標達成度) 生活安全条例(正式名称:羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する条例)の制定により、市民の意識の向上や協力が市民生活安全に寄与できしくみが整った。	平成20年度中に施行する「生活安全条例」に基づき、市民、事業者及び行政が一体なり、横断的な連携のもと、防犯・交通安全・火災予防施策の充実に努めていく。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	現行どおり実施	今後は、防犯、交通安全、火災予防に関する諸課題を、この条例に基づく推進会議で検討し、対応していただく組織として運営する方向にしていく。	現行どおり実施	条例に基づく具体的な施策を実施していく局面に入ったが、本条例については全職員に関わるものであることから、職員研修等を利用して周知徹底を図ること。また、実効性をもって諸課題について取り組んでいくとともに、推進会議の充実に努めていくこと。	
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性					有効性
			都支支出金	0	0	0	0	4	5					5
			受益者負担額	0	0	0	0	条例に加え、推進計画を策定した。今後は、推進会議により具体的に運営していく課題があるため「4」とした。	行政主導ではなく「羽村市交通安全、防犯対策に関する懇談会」による提言に基づき条例を策定した。市民による自主的な安全安心の推進に果たす効果は大きいため「5」とした。					行政のみでなく、市民、事業者が各々の責務を認識し、連携して安全安心のまちづくりを推進することは有効であるため「5」とした。
			その他特定財源	0	0	0	0							
一般財源	0	0	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	総務部 生活安全課
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	
3	消防団活動の支援(分団配備用備品の整備と水防演習の実施) 事務事業の成果(目標達成度) 水防演習時に配備した備品を活用し、冠水を想定し、排水活動を市民に披露した。	災害時の消防体制の充実のため、消防団活動における効率及び迅速性の向上のため、備品を整備し活用を図る。低水位ストレーナー(水位が低い水利から吸水するための器具)	事業費	527	0	1,087	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	現行どおり実施	消防団活動に不可欠なものとして、計画的に備品を配備することができた。また、水防訓練についても関係団体との連携を強化し実効性のある内容とし、市の防災力の向上に努めていく。	現行どおり実施	地域に密着した防災組織として、消防団の果たす役割は大きい。組織能力向上のための配慮については、ハード、ソフトの両面から実施していかねばならないが、特にハード面の整備については、年次の計画をたて実施していくこと。	
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性					有効性
			都支支出金	0	0	0	0	5	5					5
			受益者負担額	0	0	0	0	当初計画のとおり、備品購入を完了し、水防訓練を行えたことから「5」とした。	消防ポンプ自動車に搭載して、水防訓練時に使用するなど水防及び消防活動に効率的活用が図られていることから「5」とした。					地域に密着した消防力の向上を図り、安心して暮らせるまちの実現のため、効率性が図れていることから「5」とした。
			その他特定財源	0	0	0	0							
一般財源	527	0	1,087	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課	総務部 生活安全課
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		第三次評価(行政評価委員会評価)	
4	消防ポンプ自動車の購入 事務事業の成果(目標達成度) 平成20年度においては、年次計画により第一分団車両を更新し配備した。	各分団に配備された消防ポンプ自動車の更新を行い、消防活動の充実を図る。	事業費	18,795	19,000	19,000	19,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	現行どおり実施	消防団活動に不可欠なものとして、計画的に配備することができた。今後も計画的に購入し、地域の消防力の向上を図っていく。	現行どおり実施	地域に密着した防災組織として、消防団の果たす役割は大きい。組織能力向上のための配慮については、ハード、ソフトの両面から実施していかねばならないが、特にハード面の整備については、年次の計画をたて実施していくこと。	
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性					有効性
			都支支出金	0	0	0	0	5	5					5
			受益者負担額	0	0	0	0	当初計画のとおり、購入できたことから「5」とした。	防衛施設周辺民生安全定施設整備事業補助金を活用して購入しており、また、既存の消防車よりもサイズダウンし性能は向上していることから効率性は「5」とした。					運転免許制度の改正により、新制度下の普通免許では既存の4トン車は運転できなくなることも、新たな団員を確保していくことも、現行の普通免許証で運転できる車両が必須であることから有効性は「5」とした。
			その他特定財源	0	0	0	0							
一般財源	18,795	19,000	19,000	19,000										
		事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅲ環境にやさしい安心して暮らせるまち【環境・安全の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
5	災害用備蓄物資の充実 事務事業の成果(目標達成度) 20年度においては、年次計画により事業を行わない。	災害時には、避難所となる小・中学校等の公共施設が一時的な生活場所となるが、この避難所の対応能力の向上を図るため、避難所内にコンテナ型の備蓄倉庫を設置するほか、備蓄物資の充実を図る。	事業費	4,380	7,014	4,380	2,764	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	災害への備えを計画的に実施することができた。今後も計画的に設置し、自主防災や災害支援のため体制を充実させる。	現行どおり実施	災害対策については、不断に実施していく必要があるが、財政面での制約もあることから、適正な年次計画にたった整備を実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	4,380	7,014	4,380	2,764										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
6	交通安全対策の推進(交通安全教育の充実・自転車運転ルール・マナーの向上) 事務事業の成果(目標達成度) 自転車運転免許制度の実施 目標値:7校 → 結果値:6校	交通安全意識の高揚を図るため、福生警察署及び交通安全推進委員会等の関係機関と連携し、小学生を対象とした「自転車運転免許事業」を引き続き実施し、また、新たに中学生を対象としたスタントマンによる交通事故再現を通じた交通安全教室を実施した。	事業費	100	400	400	100	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	現行どおり実施	交通安全教育の一環として、本事業は、効果の高いものと考えており、今後も引き続き実施する。	現行どおり実施	児童生徒に対する交通安全教育については、具体的な事例を見せることにより身に付く部分が多い。このため、今後も引き続き実施していくこと。また、実施の際に関連する地域の高齢者等も対象とするなど、広がりを見せる内容としていくこと。なお、今後は、年齢別の交通事故被害者等の統計を入手し、その効果も計っていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	100	400	400	100										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
7	自転車駐車場整備の検討 事務事業の成果(目標達成度) 当事業は、継続して検討されるものであり、現在ではまだ成果を残せるに至っていない。検討終了後は、将来的な市の自転車駐車対策の推進に必要なものである。	「自転車駐車場整備に関する検討会」を設置し、自転車駐車場整備についての今後の方向性について検討した。	事業費	1	1	1	1	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	3	5	現行どおり実施	自転車駐車場の諸課題については、今後も検討を行う必要がある。	現行どおり実施	自転車駐車場対策については、用地の問題や、利用者が広域に亘ること、受益者負担の検討といった、解決していかなければならない課題が輻輳している。このため、検討会において全庁的な取組みを進めていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	1	1	1	1										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
8	市民生活安全パトロールの充実 事務事業の成果(目標達成度)	囑託職員による日中市内見回りと警備会社委託による夜間市内見回りを青色回転灯装着車両を使って実施。また、羽村駅、小作駅両駅周辺を市民ボランティアの協力を得てパトロールを実施している。	事業費	18,309	21,850	11,000	11,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	改善のうえ実施	パトロールは、見直しの時期に来ている。必要性は誰もが認めるところであるので、今後は羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する推進会議でそのあり方も含め検討し、改善しつつ実施していく。	改善のうえ実施	第2次評価に記述されているとおり、今後は条例の趣旨に沿って、市民協働等を積極的に活用し、市民一人ひとりが防犯防災の担い手になるよう施策を講じていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	18,309	21,850	11,000	11,000										
		事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅲ環境にやさしい安心して暮らせるまち【環境・安全の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価		
9	緑の環境教育の実施	市民を対象に、市の緑の現状や緑の役割を把握することを目的に市内の緑を題材とした、環境教育を実施した。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 5	5	5	現行どおり実施	初めての試みであったが、緑に関する見識のある市民を活用し、緑の重要性をPRでき、非常に効果的な事業であったと考える。	現行どおり実施	環境への負荷が地球的なレベルで懸念されている今、本事業についてはタイムリーな施策である。今後も、継続して実施していくとともに、この講座を受講した市民に対して、家庭等に戻って自主的な緑化に取り組めるよう、ボランティア等を活用した支援を実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	0	0	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価		
10	緑地管理制度の構築・運用	ボランティアによる樹林地の適正管理を進めていく、市は活動に必要な道具の貸し出し等を行い活動を側面から支援している。	事業費	38	45	45	45	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 5	5	5	現行どおり実施	ボランティアの皆さんの精力的な活動により多くの緑地を保全することができ、ごみの不法投棄の減少にも効果があったと考える。今後も支援を継続していく必要がある貴重な団体である。	現行どおり実施	都市化による緑地の減少は、地域環境や景観上の悪化を招く可能性があるため、市では所有者の理解を得て樹林地等緑地の保存に取り組んでいるが、一方、管理の悪い緑地は、防犯上の懸念や害虫の発生などの問題を生じさせるため、常に良好に管理する必要があるが、全ての管理を行政で実施することは財源的にも難しい。本事業のようなボランティアや市民協働で管理が実施されることは、緑地の管理上だけでなく、市民の意識の中に自治が芽生える機会ともなると考えられる。今後も積極的に取り組んでいくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	38	45	45	45										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価		
11	緑化リーフレットの作成	地球温暖化対策における樹木のCO2の吸収、緑の環境保全機能、都市における緑の役割、散策ルートなどを周知するリーフレットを作成した。	事業費	47	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 5	5	5	計画どおり完了(終了)	多くの市民の協力によりあまり経費をかけずに、充実した内容の価値あるリーフレットをできたと考える。	計画どおり完了(終了)	今後、リーフレットの有効活用を図ること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	47	0	0	0										
		事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅲ環境にやさしい安心して暮らせるまち【環境・安全の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
12	公共施設から発生する二酸化炭素の削減 事務事業の成果(目標達成度) 各種データに基づき、共同ツールを用いた排出量の現状を分析した。	(財)特別区協議会と(財)東京市町村自治調査会が都の協力を得て、平成20年度に策定された「温室効果ガス算定共同ツール」を利用し、温室効果ガスの市全体排出量が算出された。	事業費	0	1,513	3,830	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	共同ツールの提供は遅れたが、温室効果ガス排出量を把握することができ、計画策定のための基礎データとして活用することができる。と考える。	現行どおり実施	温室効果ガス排出量については、経年変化を把握するため、今後も確実に実施していく、温暖化防止のための計画策定にいかしていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	1,360	2,300	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	0	153	1,530	0										
			事業費の内訳											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
13	航空機騒音計の更新 事務事業の成果(目標達成度) 航空機騒音計購入 目標値:1台 → 結果値:1台	新基準に対応し、航空機か否かの識別装置や電子データ集計が可能な航空機騒音計を第2四半期までに更新した。	事業費	4,778	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	計画どおり完了(終了)	計画通り早期に機種を更新できた。と考える。	計画どおり完了(終了)	横田基地を抱える自治体として、航空機騒音測定装置は必須である。今後、測定データの分析等を通して、市の置かれてる現状を明確化し、発生源である防衛省等関係機関へ対する要請時に活用していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	4,778	0	0	0										
			事業費の内訳											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
14	省エネルギー型機器の設置費助成 事務事業の成果(目標達成度) 補助件数 目標値:100件 → 結果値:104件	これまで3年間実施してきた電気を熱源とする二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)設置助成に、ガスを熱源とするガスエンジン給湯器(エコウィル)及び潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)を対象に加え設置助成を行った。	事業費	4,100	3,000	6,000	6,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	4	改善のうえ実施	本事業は事業者の協力もあり、温室効果ガス削減に効果的な事業であると考え、約半年で予定金額に達してしまつたため、ある程度の公平性を担保する工夫が必要である。また、対象機器の拡大についても検討したい。	改善のうえ実施	本事業については、省エネルギー型機器の普及に関し、市内にインセンティブを与える目的であることから、その目的に沿って事業展開を図ること。
			国庫支出金	800	1,350	0	0							
			都支出金	0	300	3,000	3,000							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	3,300	1,350	3,000	3,000										
			事業費の内訳											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
15	ISO14001環境マネジメントシステムの運用 事務事業の成果(目標達成度) 市の事務事業から環境負荷の低減を図る。	ISO14001環境マネジメントシステムの運用により、市が率先して環境に配慮した取組みを持続して行った。	事業費	719	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	実施について再検討	9年間のEMSの運用実績については、認証機関からは高い評価を受け、環境負荷の低減や経費の削減など多くの効果をもたらすことができた。と考える。今後はこれらの経験と実績を生かしてさらにレベルアップした、新たな環境マネジメントシステムを構築することを検討したい。	廃止	ISO14001環境マネジメントシステムについては、他市に先駆けて実施し、9年間という長期間に亘って運用したことにより、市や職員の環境への取組みに効果があったと考える。しかしながら、経年実施による制度疲労も否めないため、来年度からは、認証による運用ではなく、独自の取組みにより、羽村市らしい環境配慮システムを構築すること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	719	0	0	0										
			事業費の内訳											

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅲ環境にやさしい安心して暮らせるまち【環境・安全の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
16	環境調査の充実	多摩川・地下水の水質、大気汚染、騒音等の各種調査を実施する。	事業費	7,114	6,656	6,656	6,656	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	改善のうえ実施	市内環境を把握する上で継続していく必要がある重要な事業であると考え、今までも調査地点、調査項目、調査頻度などの見直しを行っているが、今後も常に精査していく必要がある。	改善のうえ実施	調査地点、項目、頻度などを見直し精査するとともに、蓄積されたデータから導き出される環境変化についても把握し、必要があれば対策を講じること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	3,355	3,355	3,355	3,355							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	255	255	255	255							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	3,504	3,046	3,046	3,046										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
17	「(仮称)はむらごみゼロ会議」の設置	市民・事業者・行政が連携を図り3Rを推進するための検討会議を設置し、それぞれの役割分担を明確化する。 平成20年度 調査・研究 平成21年度 設置	事業費	0	0	20	20	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	現行どおり実施	将来の資源循環型社会を構築していくうえでは、重要な事業であるため、他団体を参考にするなど設置に向けた取り組みを進める。	現行どおり実施	設置する組織の役割を明確化し、それぞれの役割にたった実行プログラムを組むなど、平成21年度中にその成果を求めること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	0	0	20	20										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
18	資源収集・ごみ収集の充実(一般廃棄物の減量)	羽村市一般廃棄物処理基本計画の基本目標に基づき、廃棄物処理手数料を有料化した直後の、平成15年度の収集量を基準値として、廃棄物の収集量を一般家庭から排出される「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「有害ごみ」の総合計の収集量の管理 目標値:【可燃】8,985t、【不燃】1,360t、【資源】5,242t、【有害】30t、【総合計】15,617t 結果値:【可燃】9,348t、【不燃】381t、【資源】4,934t、【有害】27t、【総合計】14,690t	事業費	338,327	338,327	338,327	338,327	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	現行どおり実施	総ごみ量は着実に減少しているが、家庭系の燃やせるごみ量については、平成19年度に比べると削減することが出来たが、目標値(平成15年度)を上回ってしまったため、資源分別の徹底を図るとともに、新たな施策を検討する必要がある。	現行どおり実施	全体のごみ量は削減されており、ごみに対する市民意識が向上していることが伺えるが、分別方法の変更等により燃やせるごみの量が増えていくことから、今後も積極的に市民への啓発を実施し、削減について努めていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	133,768	133,768	133,768	133,768							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	204,559	204,559	204,559	204,559										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
19	最終処分場への搬入量の削減	東京たま広域資源循環組合では、平成18年度から平成22年度までの5年間を計画期間として、「三多摩地域第3次廃棄物減容(量)化基本計画」を策定し、構成市町に対して二ツ塚処分場への搬入量について厳しい制限をしており、各市への配分量を超過した場合には、超過量に応じた超過金(トン当たり20,000円)を請求されることから、配分量を厳守するべく、搬入量管理を徹底し、焼却残渣を1,331トン、不燃物を188m ³ とした。 ⇒結果値:1,123t・157m ³	事業費	146,916	145,444	145,444	145,444	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	市民・事業者の協力により、計画どおり搬入量を削減することが出来た。今後も引き続き、広報紙等を活用し、ごみの資源化を図っていく必要がある。	現行どおり実施	ごみ処理量の抑制は、環境保全の面でも、また、経費の面でも非常に有効な施策である。今後もより一層の減量について、様々な面から検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	146,916	145,444	145,444	145,444										
		事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅲ環境にやさしい安心して暮らせるまち【環境・安全の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価 高5~中3~低1)			事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価		
20	那賀排水区の浸水対策	平成19年9月に発生した台風9号による被災に対して、今後こうした被災を防ぐことを目的に、同地区の浸水対策を施工した。 具体的には、開渠部分の嵩上げを高さ0.87m、延長108m整備し、フラップゲート7箇所設置した。これにより、上記台風9号以上の降雨、河川増水にも耐えうる整備が図れた。 また、この他、水上公園下にポンプ1基増設し同地域の排水能力を高めた。	事業費	13,440	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価 高5~中3~低1)			事業実施の方向性についての評価		事業実施の方向性についての評価	
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	今年度の事業は目標どおり完了した。	計画どおり完了(終了)	那賀排水区浸水対策に基づく喫緊の対策事業については本事業をもって完了した。今後は、同対策において、中期対策として掲げた各対策事業について、その効果等の検証を進めること。
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0	大雨など大規模な災害に耐えうる浸水対策が施工できたことは「5」に相当する。	上記と重複するが市民の安全を守るという整備ができたことは「5」に相当する。費用対効果1mあたりのコスト17万円弱は、危機管理という観点からの投資とすれば妥当と推測される。	市の危機管理、防災・減災対策という点から有効な施策であり、かつこれを迅速に対処できることから「5」として評価できる。				
			その他特定財源	11,900	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	1,540	0	0	0										
事業費の内訳														

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅳ美しく快適な住みよいまち【都市整備の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	第三次評価(行政評価委員会評価)	
1	コミュニティバスはむらんの運行と充実	コミュニティバスはむらんの利便性を向上させて、市民の身近な公共交通機関として利用の促進を図るとともに、効率的な運行に努める。	事業費	53,689	40,298	55,000	55,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)			事業実施の方向性についての評価	総務部 生活安全課
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性	有効性		
			都支支出金	0	0	0	0	5	4	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	はむらん運営推進懇話会の報告に基づき、ルート変更と福生病院ルートの増便を行い、利便性が向上したため「5」とした。				
			その他特定財源	0	0	0	0	運行事業者との単年度協定により運行し、経費と運賃収入の差額を補助しているが、広告等による収入増が課題であり「4」とした。				
事務事業の成果(目標達成度)			起債	0	0	0				現行どおり実施	市民ニーズを的確に把握し、対策を打っていくことで、利用者の利便性の向上と、利用者の増加を図ること。なお、車両等の課題については、費用対効果を勘案して実施時期を決定していくこと。	
年間利用者数 目標103,000人⇒結果124,083人			一般財源	53,689	40,298	55,000	55,000					
			事業費の内訳									

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	第三次評価(行政評価委員会評価)	
2	建築物の整備計画	公共建築物の新・増・改築事業の計画及び既存建築物の延命化を図るための維持管理適正化計画を策定し、施設の計画的な整備を進めた。 《平成20年度の施設改修実績》 ◆羽村第三中学校空調設備工事 208,134千円 ◆東小学校ダムウェーター改修工事 595千円 ◆西小学校空調設備改修工事 1,749千円 ◆松林小学校学校図書室等設置工事 5,765千円 ◆武蔵野小学校プール塗装等改修工事 462千円 ◆スイミングセンター暖房ボイラー修繕等 483千円 ◆市営住宅火災警報機設置 2,100千円 ◆産業福祉センター空調機修繕 3,148千円	事業費	222,440	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)			事業実施の方向性についての評価	建設部 施設計画課
			国庫支出金	136,770	0	0	0	達成度	効率性	有効性		
			都支支出金	0	0	0	0	5	5	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	計画どおり施設改修が図れたことから「5」とした。				
			その他特定財源	0	0	0	0	施設改修に伴い延命化が図れるとともに、今後の修繕費の増大が阻止できたことから「5」とした。				
事務事業の成果(目標達成度)			起債	0	0	0				現行どおり実施	施設の延命化を図り、安全に利用するための事業として目標どおり、完了することができた。	
平成20年度の施設改修に伴い、計画的な維持管理が図れた。			一般財源	85,670	0	0	0					
			事業費の内訳									

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	第三次評価(行政評価委員会評価)	
3	市道第203号線の整備(用地取得・補償業務)	工事に支障となる電柱移設等の物件補償を行った。	事業費	1,050	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低3)			事業実施の方向性についての評価	建設部 施設計画課
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性	有効性		
			都支支出金	0	0	0	0	5	5	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	計画どおり、電柱等の移設が完了したことから「5」とした。				
			その他特定財源	0	0	0	0	電柱等の移設により歩道設置工事の完了に伴い、市民の交通安全対策が図られたことから「5」とした。				
事務事業の成果(目標達成度)			起債	0	0	0				計画どおり完了(終了)	当初計画から道路線形を一部変更したことから、電柱等の支障物件が発生し、この移転補償が完了した。	
新奥多摩街道から市役所通りの間の間坂街道(市道第203号線)の用地取得と補償業務を行ったことにより、歩道整備が完了し市民及び歩行者の安全確保が図れた。			一般財源	1,050	0	0	0					
			事業費の内訳									

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		所管課
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	第三次評価(行政評価委員会評価)	
4	清流町地区を結ぶ生活道路の整備	清流町地区を結ぶ生活道路(あきる野市道548号線)の通行の安全を図るため、あきる野市が実施する幅員整備事業費の一部を負担することとなっていたが、あきる野市が行ってきた用地買収交渉が難航し、平成20年度に予定した事業が実施できなかった。このため、あきる野市と協議の上、予算執行は無かった。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)			事業実施の方向性についての評価	建設部 施設計画課
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性	有効性		
			都支支出金	0	0	0	0	1	5	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	用地交渉の不調によることから「1」とした。				
			その他特定財源	0	0	0	0	生活するうえで道路は必要不可欠なことから「5」とした。				
事務事業の成果(目標達成度)			起債	0	0	0				現行どおり実施	土地所有者との用地交渉が難航しているが、清流地区の市民等にとっては必要な事業であるので、あきる野市とともに解決に向けた努力をしていきたい。	
事業を執行できなかったため、成果は無し。			一般財源	0	0	0	0					
			事業費の内訳									

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅳ美しく快適な住みよいまち【都市整備の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
5	市道第5045号線道路拡幅事業【用地取得・補償業務】	市道第5045号線道路拡幅を行い、防災面や交通安全での機能向上を図るため、用地取得や樹木補償等の業務を行った。	事業費	19,138	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5	計画どおり完了(終了)	事業に必要となる用地取得や物件補償等の関係業務が完了したので、本事業の評価については計画どおり完了とする。平成21年度以降に実施する整備工事についても、事業計画に基づき、適正な事業管理のもと、着実に実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			都支支出金	7,953	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			その他特定財源	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			起債	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
	一般財源	11,185	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5				
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
6	狭あい道路整備計画の策定	狭あい道路における防災面や交通安全の機能向上を図るため、平成21年度計画策定に向け、庁内に副市長を委員長とする検討委員会を発足し、6回の委員会を開催した。	事業費	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5	現行どおり実施	スケジュールに基づき、平成21年度の計画策定に向け、着実に事業を実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5		
			都支支出金	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5		
			その他特定財源	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5		
			起債	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5		
	一般財源	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5				
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
7	玉川コミュニティ広場(仮称)の整備	土地開発公社で先行取得している用地を防衛補助対象として取得し、全体を都市公園として整備した。	事業費	10,311	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5	計画どおり完了(終了)	地域のコミュニティや市民の健康づくりのための場所を整備することができた。また、施設の整備に当たって国庫補助金を活用できたことは評価できる。
			国庫支出金	6,925	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			都支支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			その他特定財源	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			起債	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
	一般財源	3,386	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5				
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
8	地籍調査の実施と地籍成果システムの整備	国土調査法に基づく地籍調査で、土地の筆の所在、境界、面積等を調査し、地籍簿、地籍図等について前年度に引き続き実施した。また、地籍成果システム整備については、平成19年度から21年度の3か年で、そのデータを道路台帳図として活用できるシステムとして整備した。	事業費	16,116	16,792	800	800	達成度	5	効率性	5	有効性	5	現行どおり実施	3箇年事業として実施している地籍成果システムの整備事業にあつては、平成21年度が最終年度となるので、今後も事業計画に基づき適切な事業執行に努めること。また、地籍調査についても同様に年次計画に基づく適切な事業執行に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			都支支出金	12,087	12,594	600	600	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			その他特定財源	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
			起債	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5		
	一般財源	4,029	4,198	200	200	達成度	5	効率性	5	有効性	5				
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅳ美しく快適な住みよいまち【都市整備の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)					
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価					
9	羽村駅自由通路拡幅等事業 事務事業の成果(目標達成度) 事業の進捗割合(事業完了量÷計画事業量) 目標11%⇒結果11%	羽村市交通バリアフリー基本構想の趣旨にのっとり、羽村駅利用者や障害者等の利便性の向上を図るため、現在の自由通路(4.5m)を5m拡幅し、利用者が安全で快適に利用できる空間を確保するために実施する。今年度は、自由通路の拡幅部分の設計及び工事を実施する予定で進めていたが、工事費や管理方法を更に調整する必要があることから、実施設計まで完了させた。	事業費	22,239	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5～中3～低1)	改善のうえ実施	羽村駅自由通路は、JR側の方針により建築物として取り扱ってきたが、国の指導により道路として認定することができるようになったので、今後はJRと協議をしながら補助金の確保も含めて、早期完了を目指す。	改善のうえ実施	JR東日本等関係機関との協議を進め、より効率的で効果的な方法により、自由通路の整備を行うこと。				
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	3					効率性	4	有効性	5
			都支支出金	0	0	0	0	年度当初の計画が達成できなかったこと	3					効率性	4	有効性	5
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度は「3」とした。									
			その他特定財源	0	0	0	0										
			起債	0	0	0	0										
一般財源	22,239	0	0	0													
		事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)					
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価					
10	都市計画道路3・4・16号線の立体交差事業 事務事業の成果(目標達成度) 道路延長 目標478m⇒結果478m	都市計画道路3・4・16号線の立体交差工事延長478m、車道幅員8m、側道幅員5m、自転車歩行者道標準幅員3m 平成20年度については、擁壁工事等道路築造に向けた本体工事とポンプ施設等の付帯工事を実施した。	事業費	547,326	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5～中3～低1)	計画どおり完了(終了)	平成16年度から進められていた工事で、本年度で完了した。「羽加美栄立体交差」と命名し、開通することとなった。	計画どおり完了(終了)	事業計画に従い、平成20年度をもって本事業は完了したが、今後も引き続き施設の適切な維持、管理に努めること。				
			国庫支出金	114,600	0	0	0	達成度	5					効率性	5	有効性	5
			都支支出金	0	0	0	0	市施工分の工事については、羽加美工区200m、栄町工区280mの道路築造工事を計画どおり完了させたため、達成度については「5」とした。									
			受益者負担額	0	0	0	0	市役所通りと新奥多摩街道がスムーズに結ばれ、周辺道路の渋滞が緩和され、JR青梅線を結ぶ東西の幹線道路として、多くの利用者の利便性が向上されたため、効率性については「5」とした。									
			その他特定財源	0	0	0	0										
			起債	0	0	0	0										
一般財源	432,726	0	0	0													
		事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)					
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価					
11	市道第101号線の整備 事務事業の成果(目標達成度) (なし)	道路延長L=3,845m、道路幅員W=16m 本路線は、第四次長期総合計画及び「羽村市交通バリアフリー基本構想」において、「商業施設が立ち並ぶ市のメインストリートとして、バリアフリー化を進めるとともに、環境や都市景観などにも配慮した人にやさしい道路整備を進める」との趣旨に沿って整備していく。	事業費	0	0	0	6,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5～中3～低1)	改善のうえ実施	この整備計画は、当初平成21年度から実施の予定であったが、防衛省から市道第201号線道路改修工事が終了してから、市道101号線の補助事業を採択するとの要請から平成24年度からの整備計画となった。今後は関係機関等の調整を図りながら、更に検討を重ねていく。	改善のうえ実施	関係機関等との調整を図りながら、市のメインストリートとしてふさわしい道路整備について、検討を進めること。				
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	4					効率性	5	有効性	5
			都支支出金	0	0	0	0	防衛省補助事業のレスキュー道路として整備するため、工事着手年度を平成24年度としたが、産業環境部と連携し、沿道事業者や商工会と調整を行っているため、達成度については「4」とした。									
			受益者負担額	0	0	0	0	景観や安全に配慮した道路のあり方を沿道事業者や商工会と調整を図り、市のメインストリートとしてふさわしい道路を整備できるため、効率性については「5」とした。									
			その他特定財源	0	0	0	0	本事業を実施することにより、商店街の活性化による便利で賑わいのある市役所通り周辺の再生が図れることから、有効性については「5」とした。									
			起債	0	0	0	0										
一般財源	0	0	0	6,000													
		事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)					
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価					
12	市道201号線の整備 事務事業の成果(目標達成度) 道路整備延長 目標1,490m⇒結果1,490m	道路延長L=3,420m、道路幅員W=16m 公共下水道雨水管の整備後、平成18年度より全線を6工区に分けてバリアフリー化を視点とした歩道の拡幅等の工事を行い、市民や環境等にも配慮した総合的な道路整備を促進する。 平成20年度については、羽村街道交差点から双葉町3丁目交差点までの区間約1,000mを完成させ、同交差点から福生市境までの区間約485mに着手した。	事業費	163,889	114,456	219,000	126,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5～中3～低1)	現行どおり実施	平成20年度については、羽村街道交差点から双葉町3丁目交差点までの区間約1,000mを完成させ、同交差点から福生市境までの区間約485mに着手した。このことにより、バリアフリー化及び地域環境等に配慮した道路整備が図られた。	現行どおり実施	平成23年度の完成に向け、事業計画に基づき、適正な事業管理のもと、着実に実施していくこと。				
			国庫支出金	120,119	80,480	155,000	90,000	達成度	5					効率性	5	有効性	5
			都支支出金	0	0	0	0	関係機関と調整を図り、計画どおり完了させたため、達成度については「5」とした。									
			受益者負担額	0	0	0	0	車道の整備と歩道の拡幅し、通行の安全とバリアフリー化を図るとともに人や環境に配慮した総合的な道路整備が実施できたため、効率性については「5」とした。									
			その他特定財源	0	0	0	0										
			起債	0	0	0	0										
一般財源	43,770	33,976	64,000	36,000													
		事業費の内訳															

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅳ美しく快適な住みよいまち【都市整備の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
13	市道第202号線の整備(堂橋付近道路拡幅) 事務事業の成果(目標達成度) 道路拡幅により、歩行者や自転車利用者の安全通行が確保される。	工事延長 92.5m、道路幅員 5.5m~6.4m 平成20年度については、L型擁壁13m、防護柵撤去13m、土工等を実施した。	事業費	2,225	17,973	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	平成20年度、平成21年度の二か年工事となり、年度内に予定した工事は完了した。	現行どおり実施	平成21年度の関係工事についても、事業計画に基づき、適正な事業管理のもと、着実に実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	2,225	17,973	0	0											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
14	田ノ上コミュニティ広場(仮称)の整備 事務事業の成果(目標達成度) 地域に密着した広場の建設により、地域にコミュニティの場の提供が図れた。	地域住民のコミュニティ活動の場として、幼児から高齢者まで幅広く利用できるよう、園路や管理施設等の整備を実施した。整備面積A=879.16㎡、インターロッキング舗装A=244.5㎡、ダストA=411.3㎡、縁石L=250.3m、車止め8基、フェンスL=92.7m、ベンチ3基、パーゴラ1基、公園灯3基、水のみ場1箇所、スプリング遊具2基、健康器具5基	事業費	16,275	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)	達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	目標どおり、完了することができた。	計画どおり完了(終了)	地域のコミュニティや市民の健康づくりのための場所を整備することができた。また、施設の整備に当たって国庫補助金を活用できたことは評価できる。
			国庫支出金	11,782	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	4,493	0	0	0											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
15	水上公園「プールサイド」の整備 事務事業の成果(目標達成度) プールサイド整備面積目標1,168㎡⇒結果1,168㎡	プールサイド舗装面積A=3,855.0㎡、プールサイド目地シール工L=1,499.4m、既設排水溝改良工L=209.7m 平成20年度については、「プールサイド」舗装A=1,168.0㎡、既設排水溝改良工L=68.0mを実施した。	事業費	7,350	9,500	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	三か年計画の一年目であり、予定どおり老朽化したプールサイドの舗装工事が完了した。	現行どおり実施	3箇年工事の1年目である平成20年度については、プールの開園までに予定工事を完了させ、施設の安全性を高めることができた。平成21年度以降の工事についても引き続き、事業計画に基づき、適正な事業管理のもと、着実に実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	7,350	9,500	0	0											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
16	川崎公園の整備(ユニバーサル化) 事務事業の成果(目標達成度) 市民の健康増進並びに健康保持が図れるとともに、潤いの場の提供ができた。	幼児から高齢者まで幅広く利用できる健康遊具を設置した。健康器具5基、背伸ばしチェア1基、ヒコハネ(説明板)2基	事業費	2,657	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)	達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	目標どおり、完了することができた。	計画どおり完了(終了)	市民の健康づくりを目的とした健康器具の整備を計画どおり実施することができた。今後は設置した器具の適正な維持、管理に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	2,657	0	0	0											
事業費の内訳															

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅳ美しく快適な住みよいまち【都市整備の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価					
17	清流町地区公共下水道の供用開始 事務事業の成果(目標達成度) 事業進捗よく状況割合 目標100%⇒結果100%	清流町地区内の公共下水道整備を図るため、あきる野市と協力し下水道共有管の整備を図る。	事業費	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5	計画どおり完了(終了)	計画どおり完了(終了)	平成21年度からの供用開始に向け、目標どおり完了することができた。今後は整備した施設の適正管理に努めるとともに、地域内の公共下水道未接続世帯に対する接続の促進を図ること。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			都支支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			その他特定財源	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			起債	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			一般財源	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
事業費の内訳																

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価					
18	市道第201号線(動物公園通り)雨水管渠の整備 事務事業の成果(目標達成度) 事業進捗よく状況割合 目標100%⇒結果100%	局地的な浸水被害を解消するため、多摩川上流雨水幹線へ接続する公共下水道管渠の整備を行う。	事業費	481,975	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5	計画どおり完了(終了)	計画どおり完了(終了)	平成20年度をもって市道第201号線雨水管渠の整備事業は完了したが、整備した施設について、引き続き、適切な維持、管理に努めること。
			国庫支出金	154,000	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			都支支出金	7,700	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			その他特定財源	0	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			起債	320,199	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
			一般財源	76	0	0	0	達成度	5	効率性	5	有効性	5			
事業費の内訳																

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価					
19	羽字武蔵野等地区市街化調整区域の市街化区域への編入 事務事業の成果(目標達成度) これまでの成果としては、基本計画の策定、関係権利者との交渉、図面等の整備までの段階である。	本事業は、羽字武蔵野等地区の市街化調整区域に、道路・水道・下水道などの公共施設を整備し、市街化区域として指定し、土地利用を図っていくこととするものである。 羽字武蔵野等地区市街化調整区域基本計画において、計画年度は、平成18年度から平成26年度までの9年間、総事業費は約6億円としている。 平成20年度は、土地利用の現状確認を行うとともに、権利者の変更等を把握するため、土地台帳の調査と図面等の整備を行った。	事業費	0	0	5,000	22,000	達成度	3	効率性	4	有効性	5	改善のうえ実施	改善のうえ実施	現下の厳しい財政運営の中で多額の費用を要する事業である。より効率的で効果的な整備方法について、検討すること。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	3	効率性	4	有効性	5			
			都支支出金	0	0	0	0	達成度	3	効率性	4	有効性	5			
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度	3	効率性	4	有効性	5			
			その他特定財源	0	0	0	0	達成度	3	効率性	4	有効性	5			
			起債	0	0	0	0	達成度	3	効率性	4	有効性	5			
			一般財源	0	0	5,000	22,000	達成度	3	効率性	4	有効性	5			
事業費の内訳																

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価					
20	羽村駅西口土地区画整理事業地区の用途地域の見直し及び地区計画の制定 事務事業の成果(目標達成度) これまでの成果としては、計画案の作成、説明会の開催、意見把握の段階である。	羽村駅西口土地区画整理事業地区の用途地域と地区計画は、区画整理事業の換地設計(案)の個別説明と並行して進めていく必要があるため、平成20年度は、これまでの関係権利者の意見の掌握と、区画整理事業の進捗に合わせたスケジュールの見直しを図った。	事業費	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5	現行どおり実施	現行どおり実施	市の最重要施策である羽村駅西口土地区画整理事業の進捗状況を的確に捉え、区画整理担当課と連携しながら進めていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5			
			都支支出金	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5			
			受益者負担額	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5			
			その他特定財源	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5			
			起債	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5			
			一般財源	0	0	0	0	達成度	3	効率性	5	有効性	5			
事業費の内訳																

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅳ美しく快適な住みよいまち【都市整備の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	
21	都市計画基礎調査の実施 事務事業の成果(目標達成度) 市の都市計画事業の推進、諸計画策定にとって欠くことのできないデータを得ることができた。	都市計画基礎調査は、都市計画法第6条に基づき、東京都が5年ごとに、都市計画区域の現況及び将来の見通しについての調査を行うもので、東京都からの委託を受け実施するものである。羽村市においては、国公有地の現況など、計12項目について調査し、その成果を東京都へ提出した。 調査項目： 国公有地現況、非可住地現況、宅地開発状況、面整備実績、農地・山林現況、農林漁業関係施策、条例・協定等、地区計画等、良好な景観要素の分布、文化財等の分布、緑地調査、屋外レクリエーション	事業費	734	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	事業実施の方向性についての評価 計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価 計画どおり完了(終了)
			国庫支出金	0	0	0	0						
			都支出金	734	0	0	0						
			受益者負担額	0	0	0	0						
			その他特定財源	0	0	0	0						
			起債	0	0	0	0						
一般財源	0	0	0	0									

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	
22	神明台地区の準工業地域及び工業地域における地区計画の制定(地区計画検討委員会による検討) 事務事業の成果(目標達成度) 地区計画検討委員会による検討を行うことにより、当該地区の現状を把握することができ、住工混在の解消、地域環境の保全、景観の形成に向けた取り組みの方向性をはっきりさせることができた。	神明台地区の準工業地域及び工業地域においては、工場の撤退した跡地が宅地開発されるなど住工混在の土地利用が進み、事業者が長期的に操業しやすい環境の確保が課題となっている。このため、平成20年度、庁内に地区計画検討委員会を設置し、当該地区の地区計画に関する検討を行った。検討委員会は、計6回を開催し、その結果、地区計画を活用していくことが妥当であるとの検討結果に至り、平成21年度において審議会を設置し、地区計画策定に関する調査・審議を行うこととした。	事業費	0	995	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	事業実施の方向性についての評価 現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価 現行どおり実施
			国庫支出金	0	0	0	0						
			都支出金	0	0	0	0						
			受益者負担額	0	0	0	0						
			その他特定財源	0	0	0	0						
			起債	0	0	0	0						
一般財源	0	995	0	0									

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	
23	羽村駅西口土地区画整理事業の推進 事務事業の成果(目標達成度) 権利者の最も関心の高い換地設計(案)を示したことで、個々具体的内容を知らせることができるとともに、個別説明を行ったことにより、事業への理解がより深まった。	1. 前年度に実施した換地設計(案)個別説明に対し、権利者から寄せられた意見要望書の内容を踏まえた見直し作業を行っていったため、換地設計(案)見直し方針について、羽村駅西口土地区画整理審議会へ説明及び意見聴取した上で3月3日付で決定し調整作業に着手した。 2. 駅前1戸4棟について、権利者と建築物等移転補償契約を締結し、権利者による移転が完了した。 3. 今後の駅前周辺整備を見据え、駅前仮設道路整備工事の施工をはじめ、本町ふれあい公園及び羽村駅西口公園の撤去工事、地区内の羽村市所有の建物3棟を除却した。	事業費	234,764	303,334	139,186	913,297	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	事業実施の方向性についての評価 現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価 現行どおり実施
			国庫支出金	10,000	10,000	10,000	179,750						
			都支出金	124,200	94,000	25,000	650,000						
			受益者負担額	0	0	0	0						
			その他特定財源	0	0	0	0						
			起債	0	0	0	0						
一般財源	100,564	199,334	104,186	83,547									

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)	
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度、効率性、有効性(5段階評価)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	
24	配水管管種替え(①市道第2024号線配水管管種替え工事、②市道第5066号線外2路線配水管管種替え工事、③市道第4003号線配水管管種替え工事) 事務事業の成果(目標達成度) 配水管管種替え工事 目標値:560m ⇒ 結果値:541.6m	災害時にも安定した給水を確保するため、配水管の耐震化を進めるとともに、配水管網の管状化を図った。	事業費	33,495	20,832	38,694	37,428	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	事業実施の方向性についての評価 現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価 現行どおり実施
			国庫支出金	0	0	0	0						
			都支出金	0	0	0	0						
			受益者負担額	0	0	0	0						
			その他特定財源	0	0	0	0						
			起債	0	0	0	0						
一般財源	33,495	20,832	38,694	37,428									

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標Ⅳ美しく快適な住みよいまち【都市整備の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
25	羽村駅西口土地区画整理事業地内の配水管網の整備 事務事業の成果(目標達成度) 配水管整備工事 目標値:50m ⇒ 結果値:0m	羽村駅西口土地区画整理事業の進捗状況に合わせて配水管網の整備を行う。	事業費	0	3,150	12,600	28,350	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)	達成度 3	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	区画整理事業の進捗状況により、事業を展開することとなるため、今後も区画整理担当課との連携を深め、共通理解を図りながら実施していく。	現行どおり実施	区画整理事業の進捗状況に伴い、平成20年度に予定していた事業は結果的に未執行となったが、今後も引き続き区画整理担当部署と連絡し、共通認識のもと着実な事業執行に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	0	3,150	12,600	28,350											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
26	水質管理体制の強化(ICP発光分光分析装置更新) 事務事業の成果(目標達成度) 装置更新 目標値:1台 ⇒ 結果値:1台	老朽化した原子吸光光度計を水道法第20条に基づく水質基準項目50項目中、人体に有害な金属類及び水の性状を示す金属類9項目(鉛・六価クロム・カドミウム・亜鉛・アルミニウム・鉄・銅・ナトリウム・マンガン・ヒ素・セレン・ほう素)の分析ができるICP発光分光分析装置に更新した。	事業費	7,035	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)	達成度 5	効率性 5	有効性 5	計画どおり完了(終了)	安全な水道水の供給のため、水質体制の強化を図ることができた。	計画どおり完了(終了)	安全で良質の水道水を安定供給するための水質管理体制の充実を図ることができたが、職員の水質測定技術の更なる向上を図り、水質管理体制の強化に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	7,035	0	0	0											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
27	水道施設の維持管理・修繕 事務事業の成果(目標達成度) 水道施設の維持管理を計画的に実施することにより、安全な水道水を安定して供給する事業運営が図られた。	水道事務所の冷温水発生機取替工事及び浄水場の直流電源盤バッテリー取替工事を実施した。	事業費	9,007	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)	達成度 5	効率性 5	有効性 5	計画どおり完了(終了)	安全で安定した水道水の供給に寄与できた。	計画どおり完了(終了)	安全で良質の水道水を安定供給するため、施設の適切な維持管理は最も重要なことであり、今後も計画的に整備していく必要がある。なお、将来にわたり安定的な事業経営を維持継続していくための具体的対策等についても検討を進めておくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	9,007	0	0	0											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度、効率性、有効性(5段階評価)	高5~中3~低1)	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
28	水道事業ビジョンの策定 事務事業の成果(目標達成度) 現状と課題の抽出を行い、水道事業ガイドラインの業務指標やデータを織り込みながら、素案として66頁の冊子にまとめた。	水道ガイドラインの業務指標を活用し、現状と課題を分析し、自らの事業を取り巻く環境を総合的に勘案した上で、経営戦略を策定・実行していくための「羽村市水道ビジョン」を作成する。平成20年度には、所管部署による現状と課題の抽出を行った。	事業費	0	350	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1)	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	水道ビジョンは、水道事業を取り巻く現状と課題を明らかにし、今後の方向性を示すことで、将来にわたって安全な水道水を安定して供給し続けるための指針となることから、その策定は大変意義のある事業である。	現行どおり実施	将来にわたって安全な水道水を安定して供給し続けるとともに、健全で持続可能な事業経営をするための具体的な方向性等についても検討を進めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	0	350	0	0											
事業費の内訳															

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標V 活力に満ちた にぎわいのあるまち【産業振興・消費生活の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)	第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
1	個別訪問事業の実施 事務事業の成果(目標達成度) 個別訪問回数 目標値:500回 ⇒ 結果値:554回	企業活動支援員が市内の中小事業所を御用聞きを兼ねてひとつずつ個別に訪問し、経営課題に対するアドバイスをを行うとともに、経営課題解決に役立つ専門家あるいは支援機関を紹介したり、受発注のコーディネートなどを行うなど、総合的な個別支援を行った。	事業費	4,200	4,200	4,200	4,200	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	個別訪問により市内事業所の経営状況や経営者の生の声を支援策に結び付け、各企業の経営課題に的確に対応できており、現行どおり実施している。	現行どおり実施	現在の経済情勢を好転に向かわせていくためには、国や都道府県の施策に頼るだけではなく、市町村も積極的に企業支援を打ち出している。なかでも、本事業は個別支援という方法により、各中小企業の潜在的な能力を引き出し、企業の活性化、新たな事業展開へ道筋をつけていく重要な施策である。一方、再訪問している企業もあると思われることから、これまでの企業訪問時の情報や、支援策として提供した情報などを整理し、その効果を計り、これからの全体的な施策につなげていく作業の着手する時期に入ったと考えられる。今後、それらの作業についても検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	4,200	4,200	4,200	4,200								
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)	第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
2	小口零細企業事業資金融資制度の創設 事務事業の成果(目標達成度) 24件の申請を受け、融資(利子補給と保証料の補助)を行い、事業者の資金調達を支援した。	市内の小規模事業者に対し、経営に必要な小口資金を融資した。(利子補給と保証料の補助)	事業費	1,070	1,000	1,000	1,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	経済危機にあつて、小規模事業所の資金繰りは厳しさを増していることから、現行どおり実施していく。	現行どおり実施	新たに開始した融資制度であることから、制度の周知徹底により利用促進を図るとともに、他の融資制度との調整等により相乗効果が図れるよう事業展開していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	1,070	1,000	1,000	1,000								
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)	第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
3	中小企業のコスト削減と環境負荷軽減への支援 事務事業の成果(目標達成度) エコステージ認証取得を目指す事業所の支援を行い、無事に認証取得することができた。	中小企業のコスト削減と事業活動に伴う環境負荷の軽減について支援し、経営の安定と向上、周辺環境や地球環境の保全を図った。	事業費	0	100	100	100	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	5	現行どおり実施	市内のエネルギー管理士や東京都事業と連携して実施できており、少ない費用で大きな効果が期待できることから、現行どおり実施していく。	現行どおり実施	環境問題への取組みについては、全ての事業者に課せられたものであることから、本事業を継続実施していく意義は大きい。今後、それらの取組みを実施した企業の実績等を把握し、市内企業の環境への配慮についてPRしていくとともに、企業経営の面からの効果についても把握するよう努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	0	100	100	100								
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)	第三次評価(行政評価委員会評価)			
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
4	地域商業への支援 事務事業の成果(目標達成度) 商店の店舗診断を行い、改善提案を行った。提案を受けて、商店が改善活動を実践した。 商店街と大学をマッチングさせ、協働事業をスタートさせた。	地域商業の活性化と経営安定化を図るため、商業者への個別支援や商店街の活性化に対する支援を行う。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	3	5	現行どおり実施	中心市街地を活性化し、市内全体のにぎわいを創出していくためにも、商業支援は重要であることから、現行どおり実施している。	現行どおり実施	商業振興策は街のにぎわいを喚起し、また、活力を取り戻すため重要な施策である。今回実施した、大学との共同などの異業種、異分野間の交流をさらに活性化させ、それらの中から「羽村ブランド」の芽となるような事例を把握し、ケーススタディとして取り組めるよう事業運営を展開していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	0	0	0	0								
事業費の内訳															

基本目標Ⅴ 活力に満ちた にぎわいのあるまち【産業振興・消費生活の施策】

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標V 活力に満ちた にぎわいのあるまち【産業振興・消費生活の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
5	中心市街地の商業活性化	市道第101号線(市役所通り)の整備に合わせ、沿道事業所の実態把握と個別支援、さらにこれらを通じた地域商業の活性化を図った。	事業費	4,800	4,800	4,800	4,800	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	中心市街地の活性化は市内産業の振興やにぎわいの創出には欠かせないことから、現行どおり実施していく。	現行どおり実施	市の幹線通りである市役所通り沿道の活性化は、市全体の商業振興に密接に結びついていることから、重要な施策である。また、そのための基礎データの収集についても、統計的な効果を生むためには定期的に実施していく必要がある。今後、それらのデータの集積を基に、商業者、消費者の両側面にわたった総体的な商業支援策を検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	4,800	4,800	4,800	4,800											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
6	市民農園の拡充	平成19年度に開園した「農業体験農園」を支援すると共に、農業体験農園で取得した技術を市民にさらに充実していただくため、市街地農地における「市民農園」を拡充する。市街地農地で貸与していただける農地の確認、新たな市民農園の開設。	事業費	108	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	都市農業を継続していくためには、市民と農家がお互いの立場を理解できるコミュニケーションの促進が肝要であり、「農業体験農園」、「市民農園」は農業体験を通じて双方が理解を深めるための重要な場となっている。今後現行どおり実施していく。	現行どおり実施	第2次評価にもあるように、市民と農業者とが共通理解を得るためには必要な施策であるが、市民農園になる土地については農業者の事情等により利用ができなくなることもあるため、一定期間固定化が可能な「体験農園」などの促進・活用を検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	108	0	0	0											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
7	魅力ある都市農業育成対策事業	地場産野菜、花木の生産力を強化するため、農家のビニールハウス、土壌消毒機などの整備に対し補助を行った。	事業費	11,000	11,000	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	農業を支える人を育て、生産・経営環境の整備を促進し、地域とともに農業が歩めるよう、必要な補助事業である。当初の計画どおり平成21年度まで補助事業を進め、その後も農業への支援については積極的に努めていく。	現行どおり実施	農業振興策として3年間の計画期間を設け、東京都の制度を利用して効率的に実施していることから、平成21年度事業について着実に実施していくとともに、それら設備を利用して継続的に営農できるよう、その他の施策と連携して環境整備に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	10,000	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	1,000	11,000	0	0											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
8	援農ボランティア制度の促進	援農ボランティアの登録制度を改変し、長期ボランティアだけではなく短期のみのボランティアも登録していただく制度を構築する。	事業費	1	1	1	1	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	農家の労働力の補完とともに、農業との関わりを求め市民の受け皿ともなり得ており、今後も引き続き実施していく。	現行どおり実施	市民農園の募集状況等をもみ、土に触れ合うことや農業へ興味を示す市民が増えている。しかしながら、市民農園だけでその需要に応じることが難しいため、市民も農業者も一定の利益を得る方法として、有効なこの援農ボランティア制度を積極的に推進していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	1	1	1	1											
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本目標V 活力に満ちた にぎわいのあるまち【産業振興・消費生活の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	
9	各種イベントの充実	はむら夏まつり、産業祭、はむら花と水のまつり、はむらふるさと祭りなど、それぞれのイベントの開催時期にあわせ万全な準備作業を行うとともに、充実したイベントとなるよう内容を検討する。	事業費	35,340	31,700	31,700	31,700	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1			改善のうえ実施	各イベントについては、それぞれ観光や地域のにぎわいなど、一定の効果を上げているが、より相乗効果を生むように、それぞれのイベントを複合していくなど、新たな視点、切り口で企画検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性	有効性		
			都支出金	920	0	0	0	5	5	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	各イベントにも多くの観光客を得ることができており、内容の充実が図られたことなどから達成度は「5」とした。				
			その他特定財源	0	0	0	0	各イベントとも実行委員会を組織するなど、それぞれのイベントの特性に応じた運営手法をとっており、効率性は「5」とした。	イベントの充実により着実に観光客が増加しており、市内産業の活性化が図られていることから有効性は「5」とした。			
起債	0	0	0	0								
一般財源	34,420	31,700	31,700	31,700								
		事業費の内訳										

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	
10	観光協会への支援	新たな事務局の設置により観光協会を充実し、市・商工会・観光協会が協働して羽村の観光の充実を目指す。	事業費	10,650	9,650	9,650	9,650	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1			現行どおり実施	観光施策については、公的な機関が行政主導で実施するよりも、より柔軟な対応が可能な民間ベースで実施していくほうが効果的である。このため、観光協会が自主自立の立場で運営できるよう側面からのサポートを実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性	有効性		
			都支出金	0	0	0	0	5	5	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	新たな事務局が設置され、協会の機能の充実が図られたことから達成度は「5」とした。				
			その他特定財源	0	0	0	0	観光事業の活性化は、今後市が単独で推進するのではなく、民間活力としての協会と連携して推進していく運営手法とするため、効率性は「5」とした。	観光事業の活性化にあたっては、市が単独で推進するよりも協会との連携が必要であり、有効性は「5」とした。			
起債	0	0	0	0								
一般財源	10,650	9,650	9,650	9,650								
		事業費の内訳										

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	
11	消費生活相談情報の提供の強化	消費生活相談業務の充実や、広報はむら、ホームページ等の充実により、随時最新の情報を提供していく。	事業費	1,685	1,695	3,838	2,609	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1			現行どおり実施	消費者被害を未然に防止するため、今後も継続して多様な手段により最新情報を市民に提供していく必要がある。
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	効率性	有効性		
			都支出金	0	0	2,179	950	5	5	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	市民に有効な情報提供ができたことから「5」とした。				
			その他特定財源	0	0	0	0	ホームページのニューアルなどを通じ、効率的に情報提供ができたことなどから「5」とした。	情報提供を通じて、市民に消費者被害の注意喚起が可能となり、被害防止にもつながるため「5」とした。			
起債	0	0	0	0								
一般財源	1,685	1,695	1,659	1,659								
		事業費の内訳										

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価	
12	稲作体験事業用地の購入	土地開発公社で先行取得している用地を、防衛補助対象で農業体験事業の一環として、青少年の健全育成を図るため取得した。	事業費	52,455	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1			計画どおり完了(終了)	市内小学校の学習カリキュラムに基づく、体験学習施設を整備することでできた。また、施設の整備に当たって国庫補助金を活用できたことは評価できる。
			国庫支出金	44,200	0	0	0	達成度	効率性	有効性		
			都支出金	0	0	0	0	5	5	5		
			受益者負担額	0	0	0	0	防衛省の補助金対象として計画どおり用地取得が出来たことから「5」とした。				
			その他特定財源	0	0	0	0	土地開発公社が所有していた田んぼを、市が防衛補助により取得し、児童の食育体験の場が出来たことから「5」とした。	市内の小学校のカリキュラムの一環として、全校の生徒が稲作体験事業が実施できたことから「5」とした。			
起債	0	0	0	0								
一般財源	8,255	0	0	0								
		事業費の内訳										

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
1	自治功労者等表彰式典の実施	各課への表彰該当者調査依頼、表彰審査会の開催などを経て、平成20年11月1日の市制施行記念日に式典を開催した。	事業費	678	942	942	942	達成度、効率性、有効性(5段階評価 高5~中3~低1)	達成度 5	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	自治の振興に功労が顕著な方に対する敬意と感謝の意を表すため、表彰条例に基づき引き続き実施していくが、経費については、今後も検討が必要である。	現行どおり実施	市に貢献していただいた方々へに対する敬意と感謝の意を表すものから、今後も引き続き実施していくこととするが、削減できる経費については検討すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	678	942	942	942								
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
2	市民活動支援のための体制整備(市民活動センターの設置・運営支援)	社会福祉協議会が設置する市民活動センターに対し、設置・運営の支援を行う。6月末までに市民活動センターを設置した。市民活動やボランティア活動の拡充・促進を図る。	事業費	15,142	24,805	24,805	24,805	達成度、効率性、有効性(5段階評価 高5~中3~低1)	達成度 5	効率性 5	有効性 5	計画どおり完了(終了)	市民活動の拠点となる情報発信所が整備された。今後はこの機能を更に充実させるため、運営主体である社会福祉協議会を支援していく。	計画どおり完了(終了)	立ち上げの体制整備については、予定どおり完了したが、今後、運営面での充実を図っていくことについて、運営主体である社会福祉協議会に対して働きかけていくこと
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	15,142	24,805	24,805	24,805								
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
3	地域のカプロジェクト	市の各種計画における「地域」に求める役割、関連事業を洗い出し、また、「地域」に関する市民アンケート調査、フォーラムを実施して、これらの結果を内部検討委員会で分析し、これを市民組織での検討へとつなげていく。内部検討組織を立上げ検討を進め、年度内に検討結果をまとめる。	事業費	159	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価 高5~中3~低1)	達成度 5	効率性 5	有効性 5	改善のうえ実施	地域の力からを向上させていくための貴重なデータを収集できた。今後はこのデータを各方面に適宜活用していくこととする。	改善のうえ実施	地域力については、継続して取り組んでいく事業であることから、事業継続していくこと。また、各分野において市民力を高めていく施策の展開を検討すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	159	0	0	0								
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
4	行財政改革推進プランの見直し	現行の行財政改革の指針である「羽村市行財政改革推進プラン」について、平成24年度から始まる次期長期総合計画と整合させるため、現計画を足伸ばしする。なお、数値項目については、目標値の低下を招かないよう、累進的に数値を定め計画する準備を行った。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価 高5~中3~低1)	達成度 5	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	変化の激しい社会情勢に対応し、限られた予算内で大きな効果を得るための重要な事務であり、引き続き的確に実施していく。	現行どおり実施	平成24年度から始まる次期長期総合計画に併せて、新たな取組みを主眼とするプランの策定に取り組んでいくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	0	0	0	0								
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
5	定員管理適正化計画の推進	効率的な組織運営を図っていくため、定員管理適正化計画に基づき職員数の削減を行っていく。平成21年度職員定員376人(対前年度3人削減)	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価 高5~中3~低1)	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	行財政のスリム化を行っていくために必要な事務事業であり今後も計画に基づき適正な定員管理を行っていく。	現行どおり実施	計画どおり実施していくこととするが、今後の地方分権等の進展に注視し、分権による事務増に対する適正配置に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
			一般財源	0	0	0	0								
事業費の内訳															

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
6	国際化の推進(外国籍市民相談窓口の設置と青少年・市民海外派遣事業の実施) 事務事業の成果(目標達成度) ①外国籍市民の相談に適切に対応し、不安解消や地域生活の向上を支援する。 ②青少年の国際感覚を養い、派遣先との交流を深めていく。	国際化推進事業については、これまでふれあい地域づくり公社が実施していたが、公社解散に伴い、企画課・広報広聴課がこれを引き継ぎ実施する。 ①外国籍市民の相談窓口の設置 4月から、市民相談室において外国籍市民の相談受付を開始 ②青少年海外派遣事業の実施 8月に青少年海外派遣事業(予定地:カリフォルニア)を実施	事業費	4,614	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1			改善のうえ実施 外国籍市民については、実情に応じた相談内容とする努力を、青少年派遣については、21年度からは実施しないが、引き続き国際化に有効な施策については研究していくこととする。	改善のうえ実施 外国籍市民の生活相談等に關しては、市民活動ボランティアセンターとの連携を図り、充実していくこと。また、市民との交流について、様々なイベント等を活用して、その機会を提供していくこと。			
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性			5	有効性	5
			都支支出金	0	0	0	0	市内の外国籍市民をボランティアなどの協力も含めて実施したことから「5」とした。							
			受益者負担額	0	0	0	0	今後の国際化の進展に寄与することから「5」とした。							
			起債	0	0	0	0	市民の国際感覚を養う貴重な体験を行えたことから「5」とした。							
一般財源	4,614	0	0	0	事業費の内訳										

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
7	使用料・手数料等の受益者負担の適正化 事務事業の成果(目標達成度) 平成21年度に予定している使用料等審議会の開催準備が整ったことにより、受益者負担の検討に入ることができる。	平成21年度の使用料等審議会の開催に向け、公共施設の適正な使用料等について検討した。 使用料等(案)の算定にあたっては、受益者負担の適正化を図るため、コスト計算の算定基準を作成した。	事業費	0	1,010	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1			現行どおり実施 基本方針(案)ができたので、今後は、使用料等の適正化に向けて、審議会を開催していく。	現行どおり実施 今後、使用料等審議会を開催し、適正な受益者負担の観点から使用料等の検討に移っていくこととなるが、今回作成した方針、基準等については、時点修正等により常に最新のデータとして保有するよう努めること。			
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性			5	有効性	5
			都支支出金	0	0	0	0	「使用料等適正化のための基本方針(案)」が策定できたため、達成度は「5」とした。							
			受益者負担額	0	0	0	0	内部職員の協力により業務が遂行できたことから、効率性は「5」とした。							
			起債	0	0	0	0	今後の使用料等の基本となる基本方針(案)を作成できたため、有効性は「5」とした。							
一般財源	0	1,010	0	0	事業費の内訳 審議会答申(使用料等の適正化)										

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
8	新たな公会計制度の検討 事務事業の成果(目標達成度) 平成19年度決算(普通会計)で財務書類の4表を試作した。	国の新地方公会計制度実務会計研究会報告書等を参考に、新たな公会計制度について検討を行うとともに、新たな会計制度に対応した財務会計システムの更新について検討を実施した。しかしながら、国において新たな公開制度が正式の決定をみなかったことから未確定の部分があり、現行のシステムの更改に留まった。	事業費		会計課一括			達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1			現行どおり実施 平成19年度決算(普通会計)における試作ができた。今後は、連結を含め、平成20年度決算から順次、本格導入していく。	現行どおり実施 今後も制度構築に向け着実に実施していくこと。また、全庁的に取り組んでいかなければならない課題であることから、職員への周知について、これまでも増して取り組んでいくこと。			
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性			5	有効性	5
			都支支出金	0	0	0	0	「総務省方式改訂モデル」による試作ができたので、達成度は「5」とする。							
			受益者負担額	0	0	0	0	東京都市公会計研究会に出席するなど、情報収集に努め、効率的にできたため、効率性は「5」とした。							
			起債	0	0	0	0	新たな財務指標として提示できるので、有効性は「5」とした。							
一般財源	0	#VALUE!	0	0	事業費の内訳 財務4表(普通会計) (総務省改訂モデル) 財務4表(連結含む) (総務省改定モデル)										

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
9	市長と語る21(タウンミーティング)の充実 事務事業の成果(目標達成度) 「市長と語る21」を27回実施したことにより、497名の方から540件の提案等を受けることが出来た。 (「市長と語る21」については、5回実施し、延べ35名の方から94件の提案を受けた。)	平成19年度に引き続き、町内会・自治会を対象に「市長と語る21」を27回実施し、各団体からのアイデアや提案を聴取し、市政に反映させる。 (タウンミーティングとしては、市民個人を対象とした「市長とトーク」を5回実施。)	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1			現行どおり実施 市民や地域団体が直接市長と意見交換できる機会を設けることは、より開かれた市政を展開していくために非常に重要である。今後も、引き続き実施していく。	現行どおり実施 第2次評価にもあるように、市と市民、地域をつなぐパイプとして重要な施策である。今後もさらに充実した展開を図っていくこと。			
			国庫支出金	0	0	0	0	達成度	5	効率性			5	有効性	5
			都支支出金	0	0	0	0	町内会・自治会を対象とした市長と語る21では、27回実施し、市政に関する貴重な意見を得ることができたため「5」とした。							
			受益者負担額	0	0	0	0	事前に主要な意見を提出してもらうなど、運営面で効率化を図ったことから「5」とした。							
			起債	0	0	0	0	市長が直接市民と会い、話を聴くことで、市民の満足度、地域の要望等を知ることができ、その結果を市政に反映することが可能となるため「5」とした。							
一般財源	0	0	0	0	事業費の内訳 提案件数 540件 提案件数 60件 提案件数 60件 提案件数 60件										

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
10	市政情報の提供	広報はむらについては、毎月1日・15日(2回)に発行し、全戸配布する。ホームページ及び携帯電話自治体情報サイトの更新については、広報発行にあわせて更新するほか、必要に応じ随時更新する。	事業費	25,874	29,050	29,050	29,050	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	広報媒体は、市政情報発信の基礎であり、全市民が手に入れられるものであることから、更に情報が伝わりやすいものとして充実していくこと。	現行どおり実施	市政情報を発信する基本媒体としての広報活動をより充実させていくとともに、パブリシティの活用についても検討し、積極的に市内外に情報を発信していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	25,874	29,050	29,050	29,050										
		事業費の内訳	広報はむらを読む人の割合 86%	広報はむらを読む人の割合 87%	広報はむらを読む人の割合 88%	広報はむらを読む人の割合 89%								

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
11	テレビはむらの充実	平成20年度から、取材・撮影等の技術及び専門知識を有する制作会社に番組制作の一部(3人工分)を委託することで、事務のより一層の効率化、合理化を図り、人件費(超過勤務等)の削減を図る。	事業費	21,925	21,500	31,500	43,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	実施について再検討	緊急財政対策上、実施について見直しが必要である。	改善のうえ実施	現時点では、緊急財政対策を踏まえて、方法論等の見直しを行っていく必要がある。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	21,925	21,500	31,500	43,000										
		事業費の内訳	制作本数 50本	制作本数 50本	制作本数 50本	制作本数 50本								

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
12	議会庶務事務の充実	議会の招集、議案の調整・配付、議会事務局との連絡調整など、一連の庶務事務について、議会と市長部局との接点としての役割を果たす。	事業費	10	10	10	10	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	4	現行どおり実施	地方自治法上、議決が必要な案件を議案として上程していることから、議会事務局と担当課との間に入り、議案の調整等を行う事務は、今後も継続して実施していくべきものとする。	現行どおり実施	本事業については、正確性、順法性、公平性など、その内容の適正性が問われるものであることから、ある程度の期間を要するものである。このため、第1次評価では効率性が若干低く評価されているが、スケジュール管理に注意し、時間的余裕を持って、今後も引き続き適正な事務処理を継続すること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	10	10	10	10										
		事業費の内訳	市長提出議案92件											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
13	情報公開制度及び個人情報保護制度の運用	情報公開条例及び個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護に配慮しつつ、市政情報の積極的な提供に努めるとともに、情報開示を求める市民等に適切かつ迅速に答えていく。(庶務課、広報広聴課及び全庁) また、情報公開・個人情報保護審査会及び個人情報保護審議会の運営に当たる。	事業費	290	1,806	1,806	1,806	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	1	現行どおり実施	行政の透明性の確保、説明責任等の観点から、今後も引き続き実施していく必要があると考える。	現行どおり実施	情報公開制度及び個人情報保護制度は、市政情報の透明性、適正性、公平性等を支える基礎制度である。今後も引き続き、適正運用していくよう担当課として努めていくことは勿論のこと、全庁的にその趣旨普及、適正な制度運用を図っていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	290	1,806	1,806	1,806										
		事業費の内訳	市政情報・個人情報開示請求件数 69件											

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
14	法制執務の充実	・条例、規則等の市制度の制定・改廃について、関係部署への支援を強化し、迅速な対応を図る。 ・法令の調査研究を進めるとともに、行政訴訟・行政不服申立て事務へ対応していく。	事業費	2,776	2,885	2,885	2,885	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	法制執務能力はどの職場においても必要かつ重要な能力であるが、庶務課は市の全部署を支援する担当課として、より高い法制執務能力を求められていくことから、今後も継続して法制執務能力の向上を図っていく必要がある。	現行どおり実施	第2次評価にもあるように、法制執務能力は、複雑化する社会情勢を反映して、今後、職員に要求される能力の中でも、極めて大きな位置を占めていくと考えられる。このため担当職員のスキルアップに努めるとともに、全職員に対する研修等を充実していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	2,776	2,885	2,885	2,885										
		事業費の内訳	制定改廃例規・係争中の訴訟・不服申立ての合計 227件											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
15	人事評価制度の試行	職員が職務遂行上発揮した能力及び挙げた業績等を評価し、職員の人材育成、任用、その他の人事管理に反映させる人事評価制度の見直しを行い、平成22年度以降に予定されている給与等の処遇への反映にあたり試行的に実施する。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	人事評価の精度を高め、評価のバラツキが無いよう共通認識を図り、今後も実施する。	現行どおり実施	本人評価、上司評価ともに、より精度を高め、適性な評価となるよう、研修等を活用して職員の評価能力のスキルアップを図っていくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	0	0	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
16	人材育成基本方針の改定	長期的で総合的な観点で職員の能力開発を効果的に推進するため、職員研修計画を包含した、職員の人材育成の指針となる新たな人材育成基本方針となるよう、改定を行う。	事業費	10,656	9,917	9,917	9,917	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	現行どおり実施	人事評価制度と両輪をなすものであり、現行どおり実施する。	現行どおり実施	社会が多様化していることから、市民の要求も多岐に亘っている。このため、職員に求められる能力も多様化し、また、深い専門性も併せて要求されている。人材育成にあたっては、これらの状況を十分把握し、適時的確に実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	10,656	9,917	9,917	9,917										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
17	情報化の推進と電子自治体の構築	行政の情報化を一層推進するため、耐用年数の過ぎた住民情報システム、庁内LANシステム、総合行政ネットワーク(LGWAN)及び公共施設LANの機器更新や市民の利便性向上を図るためのコンビニ収納システムなどの開発・情報基盤の整備を行った。 また、福祉総合システム、教育委員会事務システム、基幹システムのオープン化などの具体的な事業計画策定に向けた調査、検討を行った。	事業費	156,290	56,266	56,266	56,261	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	計画どおり完了(終了)	情報システム等の機器更新は、住民記録や市税など重要なシステムの安定稼働のために必要であり、最新の情報セキュリティ対策を導入し、その作業は窓口業務などへの影響に十分に配慮され計画通りに実施された。また、福祉総合システム導入など今後の情報化推進について必要な調査を行ったことから「5」とした。	計画どおり完了(終了)	今後も、情報システム化を推進していくことになるが、新たなシステム化を実施する際には、安直に情報システム化を図るのではなく、情報機器の利用について有用性等を十分把握するとともに、事務そのものをシステムティックし、費用対効果等を見極めたうえで導入検討していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	156,290	56,266	56,266	56,261										
		事業費の内訳												

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
18	業務システムの再構築と最適化	平成23年度に業務・システムの最適化計画を策定するため、市が取り扱う業務・システムの現状調査と課題分析などに関する情報収集等(準備)を行った。 事務事業の成果(目標達成度) 近隣市町村やコンサルタント会社などの最適化事例やその手法を調査するとともに、職員に対しては、システムのオープン化・小型化、パッケージシステムの推進などについて説明会を開催し、業務システムの最適化計画策定に向けた取組みの情報収集や関係職員の共通認識を得た。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	平成23年度最適化計画策定、平成25年度汎用コンピュータ廃止などに向けて、職員説明会の開催、業務システム洗出し手法の検討、他市町村の事例検討、コンサルタント会社などからの情報収集など必要な準備が行われた。	現行どおり実施	今後、具体的な検討に入っていくことになるが、組織を越えた業務プロセスの見直しや、情報処理機器の有用性も含め最適化へ取り組んでいくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	0	0	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
19	情報セキュリティマネジメントシステムの整備・運用	市が保有するすべての情報資産を様々な脅威から保護するため、羽村市情報セキュリティポリシーに基づきセキュリティ対策を実施し、情報セキュリティ委員会でセキュリティマネジメントシステムを運用することにより、セキュリティレベルの維持向上を図った。 ・情報セキュリティポリシーに職員の自己チェック規定追加など、職員研修実施などにより、情報セキュリティマネジメントシステムを適切に運用した。 ・職員課との共同で課長補佐、係長、主任職を対象とした情報セキュリティ研修を実施 ・情報セキュリティ監査の実施(内部監査;8課、外部監査;情報セキュリティポリシー監査)	事業費	609	1,000	1,000	1,000	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	計画どおり完了(終了)	情報化セキュリティ委員会により、情報セキュリティマネジメントシステムが適切に運用されており、平成21年度に設置を予定している「羽村市情報化推進本部」の検討も進められた。	計画どおり完了(終了)	情報漏えいに対するセキュリティ対策については、市の信頼性という根幹にかかる部分であることから、今後も、適切に運営していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	609	1,000	1,000	1,000										
		事業費の内訳	セキュリティポリシー改定案等 1式											

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
20	入札・契約事務の充実(総合評価制度による一般競争入札の実施)	価格以外の要素(施工実績、地域精通度、社会貢献度など)を加えて落札者を決定する総合評価方式による一般競争入札を試行するために、契約事務協議会において試行要綱骨子の検討、第三者機関(学識経験者)の設置方法などについて内容の検討を行った。 結果、平成21年度における試行についての方針が確認された。	事業費	0	180	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	価格以外の地域貢献度等の評価項目を加えた、市にとって最も有利な者をもって落札者とする制度であり、対象工事の金額等を定め、予定通り実施する。	現行どおり実施	契約行為の重要な部分は、事務の透明性、履行能力の判定、価格などであるが、手続が加えれば透明性の確保に対して一層の配慮が必要である。今後も、引き続き適正な契約事務に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	0	180	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
21	町内会・自治会活動への支援	町内会・自治会活動に対して財政的支援を行うとともに、町内会加入率の低下を抑制し、50%以上の加入率となるよう、町内会連合会と対応策等を検討し、町内会・自治会活動を積極的にPRした。	事業費	19,751	20,378	20,378	20,378	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	現行どおり実施	当面、加入率50%を超えることを目標に町内会、自治会への支援、助成等を継続していく。また、加入率の低下の問題についても庁内の「地域のキャロシエ」と連携を図り、方向性を検討し、効果的な施策を実施していく。	現行どおり実施	地域力の要となる「町内会・自治会」への加入促進については、市としても全力で取り組んでいかなければならない課題である。新たな方策等を検討し、取り組んでいくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	19,751	20,378	20,378	20,378										
		事業費の内訳	町内会・自治会加入促進リーフレット等											

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
22	自然休暇村運営の充実	指定管理者に利用者への良質なサービスの提供に努めていただき、利用者の増加とサービスの質的向上を図った。平成20年度については、指定管理期間終了に伴う、(平成21年度～平成24年度の)次期指定管理者の募集及び指定を行った。	事業費	73,174	75,984	74,688	70,176	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	指定管理者の提供するサービスについて、アンケート分析などから顧客への効果等を検証し、指定管理者と連携、調整しながら、良質なサービスの提供、利用者増加のための効果的な施策を今後も実施していく。	現行どおり実施	指定管理者制度での実施については、効果が上がっていると考えられる。今後は、利用者の増加について新たな視点で検討していくとともに、中期的な観点から保養地施策について見直しも含め検討を始めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	73,174	75,984	74,688	70,176											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
23	窓口満足度アンケート調査の実施	市民課の窓口において、6項目について満足度アンケートを実施し、この内、下記4項目について前年度実績と比較検討を行い、市民サービスの向上を図るために事務改善及び接客改善に役立てた。比較検討した4項目:①接客態度②わかりやすい説明③窓口の表示④待ち時間	事業費	2	2	2	2	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度 5	効率性 5	有効性 5	現行どおり実施	市民サービスを向上させるために、来庁者の満足度を図ることが大切であり、定期的実施する必要がある。	現行どおり実施	市民の意向を把握することは大切なことであり、その蓄積が今後の市民ニーズなどを検討する際の資料となるものである。統計資料として定期的にデータをとる必要のある項目を確実に実施していくとともに、窓口アンケートではあるが、他の部署の調査ニーズも把握し、より有効な調査とすること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	2	2	2	2											
事業費の内訳			年4回アンケート実施	年4回アンケート実施	年4回アンケート実施	年4回アンケート実施									

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
24	住民実態調査の強化	住民基本台帳法第34条に基づき、納税通知書・保険証等が届かなかった場合など、不現住の疑いがある者について実態調査をし、居住の事実がない対象者については住民基本台帳から職権削除した。	事業費	36	36	36	36	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度 5	効率性 4	有効性 5	現行どおり実施	住民基本台帳法に基づく実態調査であり、市民サービスの根幹となる住民基本台帳の正確性を担保するためにも継続して実施する必要がある。	現行どおり実施	住民基本台帳は基礎となるデータであり、正確性が求められる。今後も、実態の把握に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	36	36	36	36											
事業費の内訳															

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
25	公平・適正な課税の確保(課税客体の拡充)	市民税個人分、市民税法人分、固定資産税償却資産について、過去の申告状況や居住状況の調査、青色申告の確認、保健所閲覧などにより未申告者を把握し、ハガキ催告などにより課税客体の確保を図った。	事業費	150	150	150	150	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5～中3～低1	達成度 3	効率性 4	有効性 5	改善のうえ実施	課題にあるように、申告率を上げるための工夫が必要である。	改善のうえ実施	課税客体は、課税の公平性、収入確保のために、確実にそして正確に把握する必要がある。今後も、着実に実施して効果をあげること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	150	150	150	150											
事業費の内訳															

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価	現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価	
26	固定資産評価替え	平成21年度が3年に一度の評価替えの年度となったことから、平成20年度において、土地の用途地区等の区分、標準宅地の選定・路線価の付設、家屋の再建築費評価点標準表による適正な評価額(時価)を求めると、固定資産税の評価替えの事務を行った。	事業費	7,414	6,314	21,503	7,414	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	4	5	現行どおり実施	市の諸施策を支える根幹的な事務であり、法令に基づき今後も実施していく必要がある。	現行どおり実施	課税の公平性、収入確保のために重要な事業である。今後も、確実に実施して効果をあげる。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	7,414	6,314	21,503	7,414											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価	現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価	
27	税務情報の公開、情報提供の推進と「税」の啓発	税務情報の公開、情報提供を推進するとともに、西多摩地区税務協議会を中心に小中学校と連携した租税教育を推進する。	事業費	50	50	50	50	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	4	5	現行どおり実施	この事業は租税について理解を深め、納税してもらうために必要な事業である。	現行どおり実施	多くの市民に税情報を周知するために、広報・ホームページなどの活用は有効な方法である。今後も、租税教育を含め、市民が支払う税金についての説明責任を果たせるよう、課税という側面だけではなく、使途についての広報等と連携して実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	50	50	50	50											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価	
28	市税等収納率の向上(滞納管理システムの導入)	市税・国保税等の納税者情報を電子データ化し、交渉・管理から処分帳票作成までを一元管理することにより、滞納整理・分納管理・差押え・捜索・公売・事件管理・執行停止・不納欠損・臨戸徴収などの事務処理を効率化した。これにより、収納率を向上し、収税を上げるとともに、租税の公平性を図ることが可能となった。	事業費	11,281	6,301	7,395	7,395	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	5	5	計画どおり完了(終了)	収納率を向上させるためには、滞納整理態勢を充実させるとともに、滞納理事情事を効率化し、差押え等滞納処分を削減・収納率の向上が図られ税の公平性と財源確保できること、また、電子データで管理することにより紙情報であった個人情報保護の徹底が図られることから有用であり、有効性は「5」とした。	計画どおり完了(終了)	電子データ化は、情報の一元化、セキュリティの確保等の課題を解決するための有効な手段であるが、今後は、それらの活用による収納率の向上、市民サービスの向上が重要なポイントとなってくる。投資効果を生むためにも、さらに収納率の向上に努力すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	11,281	6,301	7,395	7,395											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳	平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
								達成度	効率性	有効性	現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価	現行どおり実施	事業実施の方向性についての評価	
29	会計事務の公正、迅速な執行の確保	会計事務の公正な執行を確保するとともに、債権者への支払及び市民等への給付金の支払を迅速に行うため、職員との適正な事務執行に努めた。また、第三版の「会計事務ハンドブック」の作成、配布を行った。	事業費	26	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	年間を通じて、関係法令等に基づく適正事務の審査を行い、会計事務の公正な執行を確保した。また、平成20年度に、第三版「会計事務ハンドブック」を作成し、全職員に配布したことにより、支払い事務に関する基礎知識を職員へ周知した。	現行どおり実施	会計事務の公正な執行を確保することはもとより、今後も継続して、会計処理に対する職員の理解の促進に努めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	26	0	0	0											
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
30	税・手数料等のコンビニ収納及び納付方法の電子化	市税等の納付手段を拡大し、市民の利便性の向上を図るため、平成21年4月1日から、市税等について、コンビニエンス・ストアでの収納を実施するための準備作業(システム開発委託、納付書様式変更等)を行った。	事業費	12,755	7,451	8,751	7,451	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	市税等のコンビニエンス・ストアでの収納を平成21年4月1日から実施するための準備作業を行ったこと、平成21年度からは、市税等のコンビニエンス・ストアでの収納が実施され、市民の利便性が向上するものと考えられる。今後は、マルチペイメント収納についても、検討していくことが必要である。	現行どおり実施	コンビニエンス・ストアでの収納が実施され、納付環境の改善が図られた。今後も利便性の向上とともに、収納率の向上を図るための収納環境の改善について検討を進めること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	12,755	7,451	8,751	7,451											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
31	新たな公会計制度の検討	発生主義、複式簿記を利用した新たな公会計制度の導入を図るため、財政課と共同で調査、検討を行った。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	4	4	4	現行どおり実施	平成20年度に、財務会計システムの更新を実施したが、現行の複式簿記システムは、今後も見直しされる可能性が高いことから、費用対効果等の面で、財務会計システムに追加しなかったため、効率性については「4」とした。	現行どおり実施	今後引き続き財政担当課と連携を図りながら、国等の動向に注視しつつ、制度構築に向け着実に実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	0	0	0	0											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
32	議会の運営	本会議、常任委員会、議会運営委員会等の円滑な運営ができた。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	円滑な議会の運営を図るため、議員の議会活動への支援を実施していく。	現行どおり実施	今後も着実に実施していくこと。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	0	0	0	0											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
33	議会HPや議会広報の充実	「より開かれた、わかりやすい羽村市議会」を目指し、市民への情報提供を進めるため議会HPや議会広報の一層の充実を図った。	事業費	3,929	5,476	5,476	5,476	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	議会HP、議会広報の充実を図ることにより、議会活動の周知が図られたため、今後も引き続き充実を図っていく。	現行どおり実施	今後は更なる開かれた議会運営を目指し、充実を図ること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	3,929	5,476	5,476	5,476											
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価	
34	東京都議会議員会会長市等の対応 事務事業の成果(目標達成度) 東京都議会議員会会長市としての責務、関東市議会議員会副会長市としての責務、また、三多摩上下水及び道路建設促進協議会会長市としての責務を果たした。	会長市として、東京都議会議員会及び市区議会議員会長の円滑な運営を行うとともに、次期会長市であるあきる野市に遺漏なく事務を引き継ぐ。 また、関東市議会議員会副会長及び三多摩上下水及び道路建設促進協議会会長の役割に就き、その責務を果たす。	事業費	140	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	計画どおり完了(終了)	東京都議会議員会会長市等としての責務を果たすことができたことから、計画どおり完了する。	計画どおり完了(終了)	会長市年度終了をもって完了とする。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	140	0	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価	
35	議会インターネット配信導入の検討 事務事業の成果(目標達成度) インターネット配信は、録画配信(本会議のみ)とし、平成22年度中に導入することが、議会運営協議会から報告された。	平成20年度に議会運営協議会で検討がなされ、インターネット配信の基本的導入方針が決定された。	事業費	0	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	計画どおり完了(終了)	基本的な導入方針を確認することができたので、計画どおり完了とする。	計画どおり完了(終了)	導入方針が決定したため、検討については計画どおり完了した。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
			起債	0	0	0	0							
一般財源	0	0	0	0										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価		
36	羽村市長選挙の準備体制の確立 事務事業の成果(目標達成度) 羽村市長選挙における当選人を決定した。	平成21年4月25日任期満了に伴う羽村市長選挙を実施する。(平成20年度当初予算では、準備経費を計上したが、予算の補正を行い平成20年度内に選挙を執行した)	事業費	14,571	0	0	0	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	3	5	計画どおり完了(終了)	任期満了選挙であり、単体の事業であるため計画どおり完了とする。	計画どおり完了(終了)	選挙の終了を以って計画どおり事業終了とする。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	14,571	0	0	0											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財源内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価	計画どおり完了(終了)	事業実施の方向性についての評価		
37	羽村市農業委員会委員選挙の執行 事務事業の成果(目標達成度) 羽村市農業委員会委員選挙における当選人を決定した。	平成20年7月19日任期満了に伴う農業委員会委員選挙を実施する。	事業費	179	0	0	893	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	3	5	計画どおり完了(終了)	任期満了選挙であり、単体の事業であるため計画どおり完了とする。	計画どおり完了(終了)	選挙の終了を以って、計画どおり事業終了とする。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
			起債	0	0	0	0								
一般財源	179	0	0	893											
		事業費の内訳													

平成21年度行政評価【平成20年度に実施した事務事業の中間(事後)評価】結果一覧

【長期総合計画基本目標別】

基本構想を実現するために【市民参画・行政運営充実の施策】

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)		
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価			
38	選挙啓発活動の実施	選挙管理委員会には、公職選挙法第6条の規定により、選挙が公明かつ適正に行われるように、選挙人の政治意識の向上に努めることが義務付けられている。事業の実施にあたっては、羽村市明るい選挙推進協議会・明るい選挙推進委員と協働して、各種啓発、研修活動を行っている。	事業費	453	824	824	824	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	現行どおり実施	民主政治の健全な発展のために、その根本である選挙をきれいにし、投票率を向上することは不可欠の要件であるため、現行どおり実施とする。	現行どおり実施	課題に挙げられている、明るい選挙推進協議会・明るい選挙推進委員の活性化について取り組むこと。
			国庫支出金	0	0	0	0							
			都支出金	0	0	0	0							
			受益者負担額	0	0	0	0							
			その他特定財源	0	0	0	0							
起債	0	0	0	0										
一般財源	453	824	824	824										
		事業費の内訳												

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
39	裁判員候補者予定者の選定	東京地方裁判所支部より割当てられた人数の裁判員候補者の予定者を、羽村市選挙人名簿よりくじで選定し、裁判員候補者予定者名簿を調製して、地裁支部に送付する。	事業費	1,196	1	1	1	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	4	3	現行どおり実施	裁判員法により定められた事務であり、現行どおり実施する必要がある。	現行どおり実施	法に基づく事務のため、適正な事務遂行に向けて実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	1,196	1	1	1											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
40	各種監査等の実施	行政の適法性及び妥当性さらに能率性を保証するため、地方自治法及び羽村市監査基本計画に基づき、例月出納検査、決算等審査や監査(定期監査、財政援助団体監査、随時監査)等を実施した。	事業費	1,228	1,228	1,228	1,228	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	5	5	現行どおり実施	地方自治法により定められた事務であり、現状どおり、実施する必要がある。	現行どおり実施	法に基づく事務のため、適正な事務遂行に向けて実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	1,228	1,228	1,228	1,228											
		事業費の内訳													

No.	事務事業名	事務事業内容	財務内訳				第一次評価(所管課長評価)			第二次評価(所管部長評価)		第三次評価(行政評価委員会評価)			
			平成20年度経費(千円)	平成21年度経費(千円)	平成22年度経費(千円)	平成23年度経費(千円)	達成度	効率性	有効性	事業実施の方向性についての評価	事業実施の方向性についての評価				
41	東京都市監査委員会等事業の実施及び参加	東京都市監査委員会は、東京都内26市の監査委員で組織されている(その他「関東都市監査委員会」「全国都市監査委員会」も都と同様に組織されている)。その目的は、監査委員制度の円滑な運営とその健全なる発達を図ること等である。これらの組織が実施する会議及び研修に参加し、監査委員及び事務局職員の資質の向上と情報交換を図り、市の監査に活用している。	事業費	500	450	450	450	達成度、効率性、有効性(5段階評価) 高5~中3~低1	5	4	4	現行どおり実施	事業の実施及び参加により、監査体制が充実するなど実務上の効果があり、引き続き実施することが必要である。	現行どおり実施	監査事務の体制整備の充実のため、引き続き実施すること。
			国庫支出金	0	0	0	0								
			都支出金	0	0	0	0								
			受益者負担額	0	0	0	0								
			その他特定財源	0	0	0	0								
起債	0	0	0	0											
一般財源	500	450	450	450											
		事業費の内訳													